

津市一志学校給食センター長寿命化改修工事

A- 1	建築特記仕様書-1	A- 21	改修後 2階天井図	E- 1	電気設備 特記仕様書1	M- 1	機械設備 特記仕様書-1
A- 2	建築特記仕様書-2	A- 22	改修前後 展開図-1	E- 2	電気設備 特記仕様書2	M- 2	機械設備 特記仕様書-2
A- 3	建築特記仕様書-3	A- 23	改修後 展開図-2	E- 3	電気設備 特記仕様書3	M- 3	給水・給湯設備 平面図 改修後
A- 4	建築特記仕様書-4	A- 24	改修後 展開図-3	E- 4	改修後 盤図	M- 4	給水・給湯設備 平面図 改修前
A- 5	建築特記仕様書-5	A- 25	改修後 断面図-1	E- 5	改修前 盤図	M- 5	排水設備 平面図 改修後
A- 6	位置図 配置図 仮設計画図	A- 26	改修後 断面図-2	E- 6	改修後 電灯設備図	M- 6	排水設備 平面図 改修前
A- 7	仕上表	A- 27	改修前 平面詳細図-1	E- 7	改修前 電灯設備図	M- 7	ガス・蒸気設備 平面図 改修後
A- 8	改修前 1階平面図	A- 28	改修後 平面詳細図-1	E- 8	改修後 コンセント設備・動力設備図	M- 8	ガス・蒸気設備 平面図 改修前
A- 9	改修後 1階平面図	A- 29	改修前 平面詳細図-2	E- 9	改修前 コンセント設備・動力設備図	M- 9	空調換気設備 平面図 改修前後
A- 10	改修前 2階平面図	A- 30	改修後 平面詳細図-2	E- 10	改修後 拡声設備・火災報知設備図	M- 10	厨房機器設備 リスト
A- 11	改修後 2階平面図	A- 31	改修後 部分詳細図	E- 11	改修前 拡声設備・火災報知設備図	M- 11	厨房機器設備 平面図 改修後
A- 12	改修前 屋上階平面図	A- 32	1階建具指示図			M- 12	厨房機器設備 平面図 改修前
A- 13	改修後 屋上階平面図	A- 33	2階建具指示図				
A- 14	改修前 立面図-1	A- 34	建具表-1				
A- 15	改修後 立面図-1	A- 35	建具表-2				
A- 16	改修前 立面図-2	A- 36	建具表-3				
A- 17	改修後 立面図-2						
A- 18	改修前 1階天井図						
A- 19	改修後 1階天井図						
A- 20	改修前 2階天井図						

工事特記仕様書(改修)															
I. 工事名称 津市一志学校給食センター長寿命化改修工事															
II. 工事概要															
1 工事場所 津市一志町高野 地内															
2 敷地面積															
3 工事内容															
構造 鉄骨造2階建															
建築面積 932m ²															
工事項目															
III. 建築改修工事種類															
1 共通仕様															
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版(以下「改修標準仕様書」という。)による。															
2 特記仕様															
(1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。															
(2)特記事項は、○印の付いたものを適用する。															
(3)項目欄に記載の()内表示番号は改修標的該当項目等を示す。															
章	項目	特記事項													
一般共通事項	① 通用基準等	1) 公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 国土交通大臣官房官房企画部監修(令和4年版) 2) 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 国土交通大臣官房官房企画部監修(令和4年版) 3) 建築物解体工事共通仕様書 国土交通大臣官房官房企画部監修(令和4年版) 4) 建築工事標準詳細図 国土交通大臣官房官房企画部監修(令和4年版)													
	② 施工条件	施工方法及び検査に関する事項 ※工事契約後、速やかに調査及び施工計画書を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。 ※工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。 ※本事業における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。 ※特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手すること。 ※工事期間中、近隣関係者等へ危害を与えないよう注意し、かつ周道路等に資材を落させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。 ※場所退出時、車両足廻りの洗浄等を行い、汚損等しないようにすること。 ※工事車両の出入りについては、安全確保に十分配慮すること。 ※大型車両通行時には誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全に十分配慮すること。 ※工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。 ※工事着手前には、現況把握のために、破損箇所等があれば、市監督員立合いのもと写真に記録しておくこと。 ※工事期間中、工事に起因し、既存施設に破損等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに原状復旧するとともに市監督員に報告すること。 ※図面に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取り合いのつり補修復旧は本工事に含む。なお内訳書の数量は参考とし、当面圖面を優先する。 ※工事作業については、施設運営に支障をきたさないよう工事の遂行に必要な施工体制を確保すること。 ※作業後の施設の施設については、施設側と十分に譲り合ふことを。 ※外部鉄部塗替えにおいて、下地調整ケレン時に隼人機付きディスクグラインダーの使用又は湿润化し飛散養生するなど粉塵の飛散防止に努めること。 ※工事用水、電力については施設内既存の施設を無償で利用できる。但し、施設運営に影響しないよう事前に打ち合わせの上計画し、施工すること。 ※令和6年7月1日から令和6年9月13日は給食調理は行わないが、その他施設運営は継続しながらの工事となるため、施設管理者、市監督員と協議の上、工程調整を行い、工事を実施すること。 ※原則として、外壁改修、1階内部改修・プラットホーム部改修等の給食調理、配送に影響のある部分の現場着手は、令和6年7月1日からとする。但し、施設及び監督員との協議により承諾を得た場合は、この限りではない。 ※防水改修等の施設運営と並行して施工可能な改修は、施設及び監督員と協議の上、早期に着手するよう努めること。 ※高所作業の施工箇所で完成検査時に確認が困難な工事については、足場解体前に市検査課による随時検査(書類を含む)を受けること。また、当該検査の合格をもって足場解体を行うこと。 ※下記に示す改修工事について、9月14日以降の施設運営に支障がないよう、市検査課の中間検査(書類を含む)を受け、9月13日までに引き渡すこと。 ・外壁改修、1階内部改修・プラットホーム部改修、2階大会議室改修、階段室改修													
	③ 発生材の処理等	(1.3.12)													
	本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成31年3月1日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。)施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。		工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。												
	・分別解体等の方法														
	工程		作業の有無					分別解体等の方法							
	造成等		・有 <input checked="" type="radio"/> 無					・手作業 ・手作業、機械作業の併用							
	基礎・基礎ぐい		・有 <input checked="" type="radio"/> 無					・手作業 ・手作業、機械作業の併用							
	上部構造部分・外装		○ 有 <input checked="" type="radio"/> 無					○ 手作業 ・手作業、機械作業の併用							
	屋根		○ 有 <input checked="" type="radio"/> 無					・手作業 ○ 手作業、機械作業の併用							
建築設備・内装等		○ 有 <input checked="" type="radio"/> 無	・手作業 ○ 手作業、機械作業の併用												
その他	()	・有 <input checked="" type="radio"/> 無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用												
④ 引き渡しを要するもの		○ 無 <input checked="" type="radio"/>													
・特別管理産業廃棄物		・有 (- PCBを含む機器類 <input checked="" type="radio"/> 廉油、廃酸、廃アルカリ <input checked="" type="radio"/> ダイオキシン類 ・水銀を含む特別管理産業廃棄物 <input checked="" type="radio"/> 廉水銀等)	・手作業 ・手作業、機械作業の併用												
・水銀使用製品産業廃棄物		・有 (- 蛍光ランプ <input checked="" type="radio"/> HIDランプ <input checked="" type="radio"/>	()												
・「水銀廃棄物ガイドライン」(第2版)(平成31年3月環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課)に基づき適切に処理すること。															
・右緑合有形板等解体時の留意点		1. 手ばらし等、出来るだけ粉塵の発生しない方法で行うこと。 2. 可能であれば温潤状態(散水)として作業を進めること。 3. 飛散されないようにすること。 4. 保護具及び作業着を着用すること。 5. 解体されたボード等は、蓋のある容器に入れること。 6. 事前に使用箇所や状況の調査を行い記録すること。													
・現場において再利用を図るもの ()															
⑤ 再資源化を図るもの		○ コンクリート塊 ○ アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材 ・()	引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し、監督員へ提出すること。												
⑥ 三重県産業廃棄物税		引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正化推進要綱」に従い適切に処理し、監督員にマニフェスト、B2、D票を提示すること。													
⑦ 電気保安技術者	(1.3.3)	受注者は、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書(実施書)」、「再生資源利用促進計画書(実施書)」を監督員に提出することとし、また、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見えやすい場所に掲げること。 なお、工事着手前にはJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータ入力し、工事完了時はシステムへ実績報告を行うこと。													
⑧ 施工数量調査	(1.6.2)	本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付證明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。 なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表(マニフェストの数量の集計)を超えて請求することはできない。													
⑨ 調査のための破壊部分の補修	(1.5.3)	本工事に使用する木材は、津市公共建築物等木材利用方針に基づき、木材の利用に努めること。 2) 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。													
⑩ 建築材料等		測定対象化学物質(●で示したものとする。)													
⑪ 化学物質の濃度測定	(1.6.9)	● 通常 <input checked="" type="radio"/> 施設用途 ホルムアルデヒド <input checked="" type="radio"/> トルエン <input checked="" type="radio"/> キシレン <input checked="" type="radio"/> エチルベンゼン <input checked="" type="radio"/> スチレン <input checked="" type="radio"/> バラジクロロベンゼン ● 学校、教育施設 <input checked="" type="radio"/> ● 住宅 <input checked="" type="radio"/> ● その他 <input checked="" type="radio"/>													
⑫ 特別な材料の工法		測定対象及び測定方法 ● 工種別の特記による													
⑬ 騒音・振動の防止		補修方法 ● 図示(図面番号:)													

④ 塗り仕上げ (4.5.2) (表4.5.1(その1) (その2))	種類	呼び名	仕上げ形状	工法																																																		--	------------------------------	-----------	----------	------	--------	--------	--	---------------------	--------------	----------	----------	---------------------------------------	-------------	------	----	--------------------	-----------	------	----	--	------	----	--	---------	-----	----	----------	--	------	----	----	---------------	-----	----	----	--	------	----	----	------	-----	----	----------	--	------	----	----	--	----	----	----		薄付け仕上塗材	外装薄塗材E	砂壁状	吹付け																																																				ゆず肌状																																																					平たん状	こて																																																				凹凸状																																																					ゆず肌状	ローラー																																																		厚付け仕上塗材	外装厚塗材C	さざ波状	吹付け																																																																																																																																																																																																																																															
													着色骨材砂壁状	こて																																																				()	()																																																				()	()																																																				()	()																																																		複層仕上塗材	外装厚塗材Si 外装厚塗材E	吹放し	吹付け																																																				凸部処理																																																					平たん状	こて																																																				凹凸状																																																																																																																																																																																																																																						
															ひき起し																																																			可とう形改修用 仕上塗材	外装厚塗材E 外装厚塗材RE	吹放し	吹付け																																																				凸部処理																																																					平たん状	こて																																																				凹凸状																																																					ひき起し																																																			可とう形改修用 仕上塗材	外装厚塗材E 外装厚塗材RE 外装厚塗材CE	ゆず肌状	ローラー																																																				複層塗材E																																																																																																																																																																																																																																				
																		複層塗材RE																																																					防水形複層塗材E																																																					防水形複層塗材RE																																																			(4.6.2) (表4.6.1) (表4.5.2)																																																					複層仕上塗材及び可とう形改修塗材の上塗材の種類																																																					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>樹脂種類</th> <th>溶媒種類</th> <th colspan="2">外観</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>アクリル系</td><td>溶剤系</td><td>艶有</td><td>艶無・メタリック</td></tr> <tr><td></td><td>弱溶剤系</td><td>艶有</td><td>艶無</td></tr> <tr><td>シリカ系</td><td>水系</td><td>艶有</td><td>艶無</td></tr> <tr><td></td><td>水系</td><td>艶無</td><td></td></tr> <tr><td>ポリウレタン系</td><td>溶剤系</td><td>艶有</td><td>艶無・メタリック</td></tr> <tr><td></td><td>弱溶剤系</td><td>艶有</td><td>艶無</td></tr> <tr><td>アクリル シリコン系</td><td>溶剤系</td><td>艶有</td><td>艶無</td></tr> <tr><td></td><td>弱溶剤系</td><td>艶有</td><td>艶無</td></tr> <tr><td>ふっ素系</td><td>溶剤系</td><td>艶有</td><td>艶無・メタリック</td></tr> <tr><td></td><td>弱溶剤系</td><td>艶有</td><td>艶無</td></tr> <tr><td></td><td>水系</td><td>艶有</td><td>艶無</td></tr> </tbody> </table>				樹脂種類	溶媒種類	外観		アクリル系	溶剤系	艶有	艶無・メタリック		弱溶剤系	艶有	艶無	シリカ系	水系	艶有	艶無		水系	艶無		ポリウレタン系	溶剤系	艶有	艶無・メタリック		弱溶剤系	艶有	艶無	アクリル シリコン系	溶剤系	艶有	艶無		弱溶剤系	艶有	艶無	ふっ素系	溶剤系	艶有	艶無・メタリック		弱溶剤系	艶有	艶無		水系	艶有	艶無		樹脂種類	溶媒種類	外観																																																			アクリル系	溶剤系	艶有	艶無・メタリック																																																																																																																																																																																																																																
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 弱溶剤系 | 艶有 | 艶無 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | シリカ系 | 水系 | 艶有 | 艶無 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 水系 | 艶無 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ポリウレタン系 | 溶剤系 | 艶有 | 艶無・メタリック | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 弱溶剤系 | 艶有 | 艶無 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | アクリル
シリコン系 | 溶剤系 | 艶有 | 艶無 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 弱溶剤系 | 艶有 | 艶無 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ふっ素系 | 溶剤系 | 艶有 | 艶無・メタリック | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 弱溶剤系 | 艶有 | 艶無 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 水系 | 艶有 | 艶無 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | (注) 艶無及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>仕上げの形状</th> <th colspan="2">工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>外壁用塗膜防水材</td><td>凹凸状</td><td colspan="2">吹付け</td></tr> <tr><td></td><td>凸部処理</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td></td><td>ゆず肌状</td><td colspan="2">ローラー</td></tr> <tr><td></td><td>さざ波状</td><td colspan="2"></td></tr> </tbody> </table> | | | | 種類 | 仕上げの形状 | 工法 | | 外壁用塗膜防水材 | 凹凸状 | 吹付け | | | 凸部処理 | | | | ゆず肌状 | ローラー | | | さざ波状 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 種類 | 仕上げの形状 | 工法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 外壁用塗膜防水材 | 凹凸状 | 吹付け | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 凸部処理 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ゆず肌状 | ローラー | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | さざ波状 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 既存塗膜等の除去及び下地処理 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>処理範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>サンダー工法</td><td></td></tr> <tr><td>○ 高圧水洗工法 (30~50MPa)</td><td>外壁 (ALC, RC)</td></tr> <tr><td>塗膜はく離剤工法</td><td></td></tr> <tr><td>○ 水洗い工法 (○ 高圧ポンプ (10~15MPa) · テッキブラシ)</td><td>外壁 (ケガ板)、巾木</td></tr> <tr><td>下地調整</td><td></td></tr> <tr><td>○ C-1 · C-2 · CM-2</td><td>○ E · ()</td></tr> </tbody> </table> | | | | 工法 | 処理範囲 | サンダー工法 | | ○ 高圧水洗工法 (30~50MPa) | 外壁 (ALC, RC) | 塗膜はく離剤工法 | | ○ 水洗い工法 (○ 高圧ポンプ (10~15MPa) · テッキブラシ) | 外壁 (ケガ板)、巾木 | 下地調整 | | ○ C-1 · C-2 · CM-2 | ○ E · () | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 工法 | 処理範囲 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | サンダー工法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ 高圧水洗工法 (30~50MPa) | 外壁 (ALC, RC) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 塗膜はく離剤工法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ 水洗い工法 (○ 高圧ポンプ (10~15MPa) · テッキブラシ) | 外壁 (ケガ板)、巾木 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 下地調整 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ C-1 · C-2 · CM-2 | ○ E · () | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | (4.5.4) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | (4.5.5) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |---|---|----------------------------|-------------------------| | 5 | 1 改修工法
(5.1.3) | かぶせ工法 | | | | | カバー工法 | ・ 持出し工法 · ノンシール工法 | | | | 撤去工法 | | | | 2 防火戸
(5.1.4) | はり工法 | ・ 引抜き工法 | | | | 例示仕様 | ・ 個別認定 (認定番号:) | | | | 自動閉鎖機構 | ・ 図示 (面番号:) | | | 3 見本の製作
(5.1.5) | 製作する | ・ 製作しない | | | | 4 防犯建物部品
(5.1.7) | ・ 図示 (面番号:) | | | | 5 ブラインドボックス等
(5.1.6)(3) | ・ 再使用する · 再使用しない | | | 6 アルミニウム製建具
(5.2.2)
(5.2.4)
(表5.2.1) | 外部建具の性能等級等 | ・ A種 · B種 · C種 | | | | | ・ 枠の見込み寸法 · 70mm · () | | | | | ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) | | | | | ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) | | | | | ・ 結露水の処理方法 · 図示 (面番号:) | | | | (表5.2.2) | | | | | アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種別 | | | | | ・ 外部に面する建具 (過酷な環境の屋外) | ・ BA-1 · BA-2 · () | | | | ・ 外部に面する建具 (一般的な環境の屋外) | ・ BB-1 · BB-2 · () | | | | ・ 内部に面する建具 | ・ BC-1 · BC-2 · () | | | | | | |---|-------------------------|--------------------------------|--------------------------------------| | 7 網戸
(5.2.3)(5) | ・ 可動式 | ・ 固定式 | | | | 防虫網の材質 | ・ ガラス織維入り合成樹脂製 | ・ ステンレス (SUS316) 製 | | | 網目 | ・ 16メッシュ | ・ 18メッシュ | | 8 樹脂製建具
(5.3.2)~(5.3.5)
(表5.3.1)~
(表5.3.3) | 外部に面する樹脂製建具の性能等級等 | | | | | ・
A種 · B種 · C種 | | | | | ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) | | | | | ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) | | | | | ・ 日射熱取得性 (等級) | | | | | ガラス | ・ 複層ガラス · () | | | | 建具枠見込寸法 | ・ 図示 (面番号:) | | | | 水切り | ・ 図示 (面番号:) | | | | ぜん板 | ・ 図示 (面番号:) | | | | 丁番 | ・ 改修標準仕様書 (表5.7.3) による | ・ 図示 (面番号:) | | 9 銅製建具
(5.4.2) | 銅製建具の性能等級 | | | | | ・ 簡易気密性ドアセット | | | | | ・ 外部に面する建具の耐風圧 | | | | | ・ S-4 · S-5 · S-6 | | | | | ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) | | | | | ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) | | | | | ・ 耐震ドアセット (等級) | | | | | H-2400又はW-950の建具 | | | | | 鋼板類の厚さ | ・ 図示 (面番号:) | ・ 改修標準仕様書表5.4.2による | | 10 銅製軽量建具
(5.5.2)
(5.5.5)
(5.2.2)(2)
(5.5.3)
(5.5.4)
(5.6.3)(1)
(5.2.3)(1) | 銅製軽量建具の性能等級 | | | | | ・ 簡易気密性ドアセット | | | | | ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) | | | | | ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) | | | | | ・ 耐震ドアセット (等級) | | | | | H-2400又はW-950の建具 | | | | | 鋼板類の厚さ | ・ 図示 (面番号:) | ・ 改修標準仕様書表5.5.1による | | 11 ステンレス製建具
(5.6.2)
(5.4.2) | 表面仕上げ | | | | | ・ 塗装 | | | | | ・ ビニル被覆鋼板 | | | | | ・ カラー鋼板 | | | | | ・ ステンレス鋼板 (· HL · 鏡面) | | | | 12 木製建具
(5.7.2)
(5.7.3) | ステンレス製建具の性能等級 | | | | | ・ 簡易気密性ドアセット | | | | | ・ 外部に面する建具の耐風圧 | | | | | ・ S-4 · S-5 · S-6 | | | | | ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) | | | | | ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) | | | | | ・ 耐震ドアセット (等級) | · MDF | ・ 改修標準仕様書表5.7.2(2) (イ) (a)~(c) · () | | | 材料 | · SUS304 · () | | | 13 建具用金物
(5.8.2) | 表面仕上げ | · HL仕上げ | · () | | | 曲げ加工 | ・ 普通曲げ | ・ 角出し曲げ | | 14 自動ドア開閉装置
(5.9.2) | 含水率 | · A種 · B種 | | | | ・ フラッシュ戸 | 表面材 | · () | | | 厚み | ・ 改修標準仕様書表5.7.6 | · () | | | 表面材の品質等 | ・ 改修標準仕様書表5.7.2(2) (イ) (a)~(c) | · () | | | | ・ MDF | 表面材の状態による区分 | | | | | ・ 曲げ強さによる区分 | | | | | ・ 接着剤による区分 | | | | | ・ 難燃性による区分 | | | ・ 戸ぶすま | 見込み寸法 | · 30mm · () | | | | 表面材 | · () | | | | 厚み | ・ 改修標準仕様書表5.7.6 | |
 | | 表面材の品質等 | ・ 改修標準仕様書表5.7.2(2) (イ) (a)~(c) | | | | | ・ MDF | | | | | 表面材の状態による区分 | | | | | ・ 曲げ強さによる区分 | | | | | ・ 接着剤による区分 | | | | | ・ 難燃性による区分 | | | ・ 引戸の召合せかまちをいんろう付きとする | 上張りの種類 | · () | | | ・ かまち戸 見込み寸法 | · 36mm · () | | | | | かまち及び鏡板の樹種 | · () | | | ・ ふすま | 見込み寸法 | · 19.5mm · () | | | | 種別 | · I種 · II種 | | | ・ ふすま紙の上張り種類 | ・ () | | | | ・ 線の仕上げ | ・ () | | | | ・ 戸ぶすま | 見込み寸法 | · 30mm · () | | | | 表面材 | · () | | | | 厚み | ・ 改修標準仕様書表5.7.6 | | | | 表面材の品質等 | ・ 改修標準仕様書表5.7.2(2) (イ) (a)~(c) | | | | | ・ MDF | | | | | 表面材の状態による区分 | | | | | ・ 曲げ強さによる区分 | | | | | ・ 接着剤による区分 | | | | | ・ 難燃性による区分 | | | ・ 引戸の召合せかまちをいんろう付きとする | 上張りの種類 | · () | | | ・ 紙張り障子 見込み寸法 | · 30mm · () | | | | 枠及びくつぎの材料 | ・ () | | | | 金物の見え掛り部等の材質等 | | | | | ・ 改修標準仕様書表5.7.1による | | | | | ・ 図示 (面番号:) | | | | | マスターキー | ・ 制作する | ・ 制作しない | | | 引渡し用鍵箱 | ・ 必要 | ・ 不要 | | | 駆動装置及び検出装置の性能値 | ・ (車椅子使用者用便房出入口用) | ・ 図示 (面番号:) | | | 引き戸用検出装置の種類 | ・ 図示 (面番号:) | | | | 凍結防止措置 | ・ あり | ・ なし | |

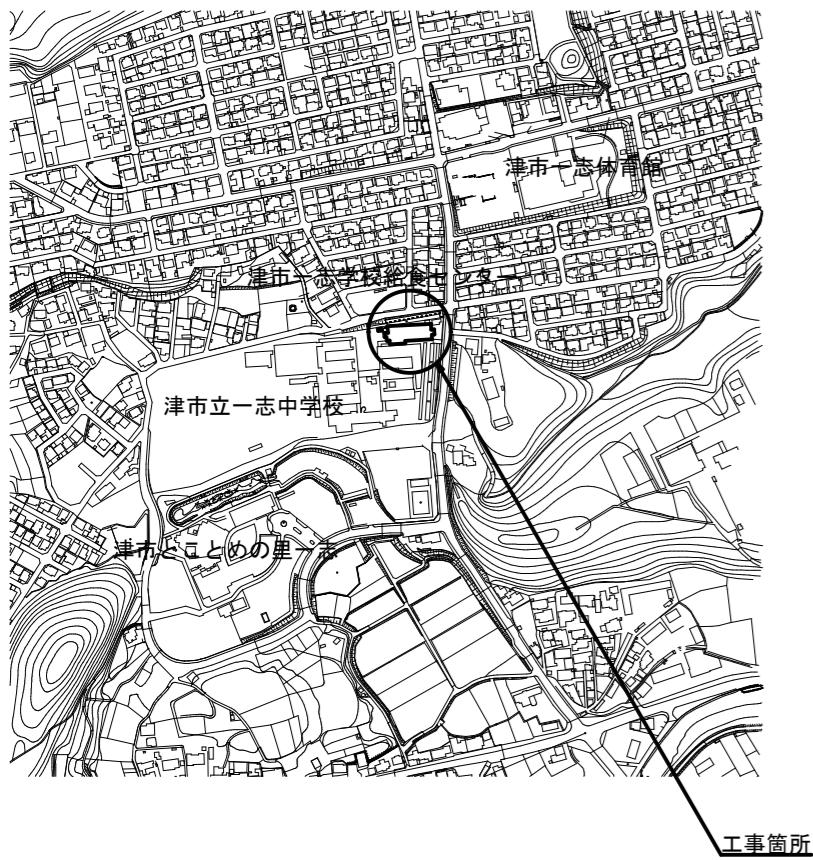
自閉式上吊り引戸装置の性能値 - 改修標準仕様書 (表5.10.1) による 種類 - 管理用シャッター - 外壁用防火シャッター - 屋内用防火シャッター - 防煙シャッター 耐風圧強度 (Pa以上) 開閉機能 - 上部電動式 (手動併用) - 上部手動式 管理用重量シャッターケース - 設ける - 設けない - めつき付着量 Z12 · F12 · () 閉閉形式 - 上部電動式 (手動併用) - 手動式 耐風圧強度 (Pa以上) スラットの材質及び形状 - インターロッキング形 - オーバーラッピング形 - JIS G 3312 · Z06 · F06 · () - JIS G 3322 · AZ90 · () 型式及び機構 セクション材料 - スチールタイプ - アルミニウムタイプ - ファイバーグラスタイプ 耐風圧強度 (Pa以上) 開閉方式 - バランス式 - チェーン式 - 電動式 収納形式 - スタンダード形 - ローハンド形 - ハイリフト形 - バーチカル形 ガイドレール - 溶融亜鉛めっき鋼板 - ステンレス鋼板 図示 (面番号:) ガイドレール - シーリング - ガスケット () ガラスブロック - 表面形状、寸法、厚さ - 図示 (面番号:) - 金属枠、補強材 - 図示 (面番号:) 化粧カバー - 図示 (面番号:) - 工法 - 図示 (面番号:) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する。	既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲				------	---------------------		改修部分	改修範囲		○ 天井	○ 図示 (面番号: A-21、22)		壁	・ 図示 (面番号:)		床	・ 図示 (面番号:)	天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲 - 図示 (面番号:) 天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修 - 図示 (面番号:) 既存床仕上げ材の除去等 浮き、欠損部等による天井モルタルの撤去 - 行う ○ 行わない 合成樹脂塗り床材の除去等 - 機械的除去工法 - 目荒し工法 改修後の床の清掃範囲 - 施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲 既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修法 - ・ () 木材の含水率 (工事現場搬入時、質量比)	部材名称	種別		------	-----------		下地材	· A種 · B種		造作材	· A種 · B種	製材 「製材の日本農林規格」による製材	部位	樹種・寸法・形状	等級	含		----	----------	----	---		----	----------	----	---	

(6.5.2) (2) (4) (6.5.2) (2) (5) (表6.5.2) 「製材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、含水率・ 図示 (図面番号:) 造作材の材面の品質・ A種・ () 樹種					-----	-----	-------		部 位	樹 種	県 産 材													(5.5.6) (1) ~ (5.5.9) (1) (6.5.2) (3) (7) 造作用集成材 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材						---------------	------------------	------------------	-------		部 位	品 名・樹 種	見付け材面の寸法・品質・数	厚さ		造作用集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)			化粧はり造作用集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)	・ ()		化粧はり構造用造作用集成柱	・ 図示 (図面番号:)		・ ()	(6.5.2) (3) (4) 「集成材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、見付け材面の品質・ 国示 (国面番号:) 含水率・ 1.5%以下・ () (6.5.2) (4) (7) 造作用単板積層材 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材						----------	------------------	-------	-------		部 位	品名・寸法	表面の品質	防虫処理		造作用単板積層材	・ 国示 (国面番号:)	・ ()	・ ()	(6.5.2) (4) (4) 「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 寸法、表面の品質、防虫処理・ 国示 (国面番号:) 含水率・ 1.4%以下・ () (6.5.2) (5) 「直交集成板の日本農林規格」による直交集成板 品名、曲げ強度、種別、接着性能、樹種及び寸法・ 国示 (国面番号:) (6.5.2) (6) ○ 合板等									--------	-----	-------	----	-------	-------	------		品名(品目)	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ		構造合板	ラワン	1類	2級	B-C	—	t12		普通合板	ラワン	1類	—	C-D	—	t5.5	(6.5.3) (1) 接合具等 造作用化粧面の釘打ち・ 隠し釘打ち・ () (6.5.3) (2) 諸金物 形状、寸法及び材質・ 国示 (国面番号:) (6.5.5) (1) ・ 防腐、防蟻処理 適用部位・ 国示 (国面番号:) 保存処理性能区分・ () 薬剤の塗布等の処理方法・ () 附属書Aに基づく表面処理用木材保存剤・ 適用する(・薬剤の種類()・ 適用部材()) 「ボード原料接着剤への防腐・防蟻処理()」 ・ 防虫処理 ・ 国示 (国面番号:) (6.5.5) (2) 軽量鉄骨天井下地 (6.6.2) (表6.6.1) (6.6.3) 野縁等の種類 ○ 屋内・ ○ 19形・ () ・ 屋外・ 25形・ () 形式及び寸法 ・ 屋外・ 国示 (国面番号:) ・ 耐震天井・ 国示 (国面番号:) ・ ふとこらご3.0m・ 改修標準仕様書(6.6.4) (8)・ 国示 (国面番号:) (6.6.4) 既存埋込みインサート ・ 使用する・ ○ 使用しない (※使用する場合は、確認試験を行う) 既存埋込みインサート、あと施工アーカーの確認試験 行う(国示 (国面番号:))・ 行わない ・ 確認試験の箇所数(箇所)・ 確認強度() 耐震性・ 耐風圧性を考慮した補強 ・ 国示 (国面番号:) 6 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3) スタッド、ランナー等の種類 ・ 国示 (国面番号:) 7 ビニル床シート、 ビニル床タイル 及びゴム床タイ ル張り (6.8.2) (6.8.2) (1) 材料 ・ ビニル床シート【JIS A 5705(ビニル系床材)】						-------	----	-------	----		種類の記号	色柄	厚さ	備考		F S	無地	2.0mm		(6.8.2) (2) ・ ビニル床タイル【JIS A 5705(ビニル系床材)】							-------	----	----	-------	----		種類の記号	色柄	寸法	厚さ	備考		K T			2.0mm		(6.8.2) (3) (4) ・ 帯電防止床シート又は床タイル 種類・ 性能・ 寸法・ 厚さ・ 備考 (6.8.2) (3) (5) ・ 視覚障害者用床タイル 種類・ 形状・ 備考 ビニル床タイル 300×300×7.0mm	(6.8.2) (3) (2) ・ 耐動荷重性床シート					----	----	----		種類	厚さ	備考														(6.8.2) (3) (3) (4) ・ 防滑性床シート又は床タイル						----	----	----	----		種類	寸法	厚さ	備考																	(6.8.2) (5) ・ ゴム床タイル							----	----	----	----	----		種類	色柄	寸法	厚さ	備考																				(6.8.3) (1) 工法 下地・ モルタル塗り・ セルフレベリング材塗り・ 木下地・ その他() (6.8.3) (2) (4) ビニル床シート張り 熱溶接工法・ 適用する・ 適用しない 8 カーペット敷き (6.9.2) (1) (表6.9.1) ・ 織じゅうたん								----	-------	-------------	--------------	-------	------		種別	糸の種類	パイアルの形状	帯電性	品質の程度	色柄		A種	・ そ毛	・ カットパイアル	・ 人体帶電圧3KV以下	・ ()	・ 無地		B種	・ 紡糸	・ ループパイアル			・ 柄物		C種	・ ()	・ カット、ループ併用	・ ()			品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。(以下同様) (6.9.2) (2) (表6.9.2) ・ タフティッドカーペット							-------------	-----------	--------------	-----------	-------		パイアルの形状	パイアル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度		・ カットパイアル		・ 人体帶電圧3KV以下	・ 全面接着工法	・ ()		・ ループパイアル			・ グリッパー工法	・ ()		・ カット、ループ併用		・ ()				(6.9.2) (3) (表6.9.2) ・ タイルカーペット							-----------	-----------	--------	---------	-------		種類	パイアルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度		・ カットパイアル	・ 500×500	・ 6.5	・ ()			・ ループパイアル	・ ()	・ ()	・ ()			(6.9.2) (4) (6.9.2) (5) 下敷き材 見切り、押え金物・ 適用する(材質、種類及び形状)・ 国示 (国面番号:) (6.9.3) (3) 織じゅうたんの接合方法 ・ ヒートボンド法・ () (6.9.3) (5) タイルカーペットの敷き方 平場・ 市松敷き・ 模様流し・ () 階段部分・ 市松敷き・ 模様流し・ () 9 合成樹脂塗床 (6.10.3) (2) (a) (表6.10.4) (6.10.3) (2) (b) (6.10.3) (3) (表6.10.5) ~ (表6.10.8) ・ 強性ウレタン樹脂系塗床の仕上げ種類、工程 ・ 平滑仕上げ・ 防滑仕上げ・ つや消し仕上げ エポキシ樹脂系塗床の仕上げ種類 ・ 薄膜流しのべ仕上げ(・ 平滑・ 防滑)・ ○ 厚膜流しのべ仕上げ(・ 平滑・ ○ 防滑) ・ 樹脂モルタル仕上げ(・ 平滑・ 防滑) 10 フローリング張り (6.11.4) (表6.11.2) ・ 釘留め工法					-------------------	------	-------		材料	種別	樹種		・ フローリングボード(根太張用)				・ 複合フローリング(根太張用)	・ A種	・ ()			・ B種				・ C種		防湿処理・ 国示 (国面番号:) (6.11.5) (表6.11.5) (表6.11.6) ・ 接着工法						-------------------	-------	------	-----		材種	樹種	厚さ	大きさ		・ フローリングボード(直張用)					・ フローリングボロック(直張用)					・ 複合フローリング(直張用)	・ ()				・ A種	・ B種	・ C種		緩衝材・ 合成樹脂発泡シート・ 国示 (国面番号:) (6.11.6) 塗替え 下地調整・ () (11) 置敷き (6.12.2) (表6.12.1) 種別・ A種・ B種・ C種・ D種 ・ D種の置床 K T - (I II III K N) (12) せっこうボード その他ボード及び合板張り (6.13.2) (表6.13.1) ・ せっこうボード ・ その他のボード 種類・ 性能・ 寸法・ 厚さ・ 備考 ・ 帶電防止床シート又は床タイル 種類・ 性能・ 寸法・ 厚さ・ 備考 ・ 視覚障害者用床タイル 種類・ 形状・ 備考	(6.13.3) (4) (4) 合板類の張付け ・ A種・ B種 (6.13.3) (6) (7) (表6.13.5) せっこうボードの目地工法 ・ 繼目処理・ 実付け・ 目透し 施工箇所 階段室 AA級 ○ 不燃・ 準不燃 (6.14.2) 壁紙張り モルタル塗り モルタル (6.15.3) (6.15.5) (6.15.6) 15 タイル張り (6.16.2) (6.16.3) モルタル塗り モルタル (6.17.2) (6.17.3) セルフレベリング材塗り セルフレベリ ング材塗り (6.17.2) (6.17.3) 17 断熱材 (9.5.2) 断熱材打込み工法 種類・ 種別・ 厚さ(mm)・ 施工箇所 ・ ビーズ法ポリスチレンフォーム ・ 押出法ポリスチレンフォーム ・ A種硬質ウレタンフォーム ・ フェノールフォーム (9.5.3) 断熱材現場発泡工法(吹付硬質ウレタンフォーム) 種類・ 厚さ[mm]・ 施工箇所 ・ A種1 ・ A種1H ・ ()	(7) 塗装改修工事 ① 材料 (7.1.3) ② 下地調整 (7.2.1~7.2.7) (表7.2.1) ~ (表7.2.7) 既存塗膜の除去範囲(塗り替えてRB種の場合) ・ 国示 (国面番号:) 種別 下地 種別 ひび割れ部の補修 ○ 木部 ○ 鉄鋼面 ○ 垂鉛めっき鋼面 ・ RA種 ○ RB種 ○ RC種 ③ 素地ごしらえ (7.3.1~7.3.7) (表7.3.1) ~ (表7.3.7) 下地 種別 ○ 木部 ○ 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ④ 銀めっき鋼面 (7.4.2) (7.4.3) 銀めっき鋼面 ・ A種 ○ B種 ○ C種 ⑤ 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) (7.5.3) ~ (表7.5.3) 塗料種別 下地 種別 ○ 木部 ・ A種 ○ B種 ○ C種

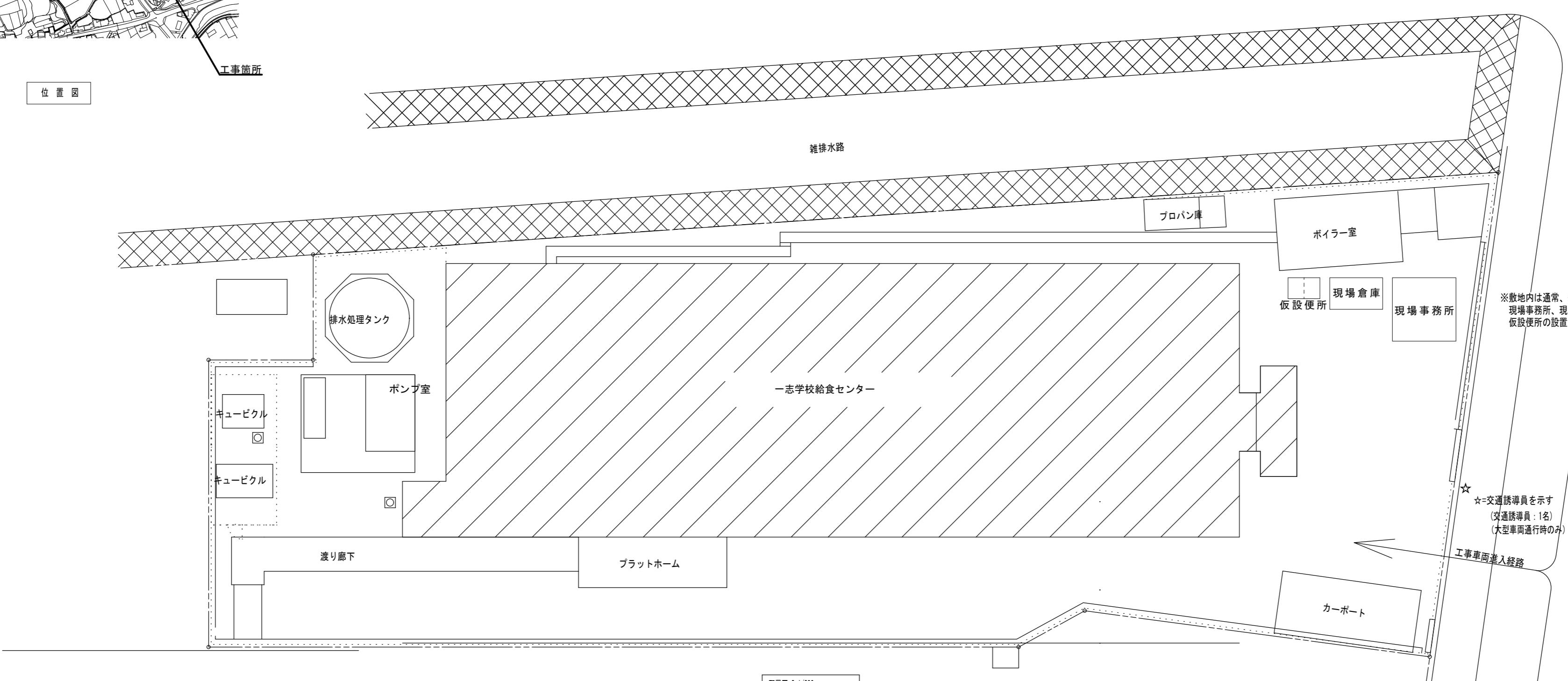
⑨ 環境配慮改修工事	⑦ アクリル樹脂系 防水分散塗料 (NAD) (7.7.2) (表7.7.1)	種別 ・ A種 ○ B種																																																												
	⑧ 耐候性塗料塗り (DP) (7.8.2)～ (7.8.4) (表7.8.1)～ (表7.8.3)	上塗り等級 ○ 1級(フッ素系) 2級(シリコン系) 3級(ポリウレタン系) <table border="1"><tr><td>下地</td><td>種別</td></tr><tr><td>コンクリート面及び 押出成形メント板面</td><td>・ A-1種 A-2種 ・ B-1種 B-2種 ・ C-1種 C-2種</td></tr></table>	下地	種別	コンクリート面及び 押出成形メント板面	・ A-1種 A-2種 ・ B-1種 B-2種 ・ C-1種 C-2種																																																								
下地	種別																																																													
コンクリート面及び 押出成形メント板面	・ A-1種 A-2種 ・ B-1種 B-2種 ・ C-1種 C-2種																																																													
⑨ つや有合成樹脂 エマルジョンペ ント塗り (EP-0) (7.9.2)～(7.9.5) (表7.9.1)～ (表7.9.4)	種別 <table border="1"><tr><td>下地</td><td>種別</td></tr><tr><td>コンクリート、モルタル、 プラスチック、せっこうボード、 その他ボード面</td><td>・ A種 ○ B種 C種 しみ止め()</td></tr><tr><td>木部(屋内)</td><td>・ A種 B種 C種</td></tr><tr><td>鉄鋼面(屋内)</td><td>・ A種 B種 C種</td></tr><tr><td>亜鉛めっき鋼面(屋内)</td><td>・ A種 B種 C種</td></tr></table>	下地	種別	コンクリート、モルタル、 プラスチック、せっこうボード、 その他ボード面	・ A種 ○ B種 C種 しみ止め()	木部(屋内)	・ A種 B種 C種	鉄鋼面(屋内)	・ A種 B種 C種	亜鉛めっき鋼面(屋内)	・ A種 B種 C種																																																			
下地	種別																																																													
コンクリート、モルタル、 プラスチック、せっこうボード、 その他ボード面	・ A種 ○ B種 C種 しみ止め()																																																													
木部(屋内)	・ A種 B種 C種																																																													
鉄鋼面(屋内)	・ A種 B種 C種																																																													
亜鉛めっき鋼面(屋内)	・ A種 B種 C種																																																													
10 合成樹脂エマ ルジョンペイ ント塗り(EP) (7.10.2) (表7.10.1)	種別 ・ A種 B種 C種 しみ止め()																																																													
11 ウレタン樹脂 ワニス塗り (UO) (7.11.2) (表7.11.1)	種別 ・ A種 B種 工程1の着色 適用する 適用しない																																																													
12 ステイン塗り (OS) (7.12.2) (表7.12.1)	種類 ピグメントステイン塗り オイルステイン塗り オイルステイン塗りの工程、塗料()																																																													
13 木材保護塗料 塗り(IP) (7.13.2) (表7.13.1)	種別 ・ A種 B種																																																													
① 石綿含有建材の 除去工事 (9.1.1)	・ 石綿粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点 <table border="1"><tr><th>適用</th><th>測定名称</th><th>測定時期</th><th>測定場所</th><th>測定点 (各施工箇所ごと)</th></tr><tr><td>・</td><td>測定1</td><td>処理作業前</td><td>計点</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>測定2</td><td>調査対象室外部の付近</td><td>計点</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>測定3</td><td>処理作業室内</td><td>計点</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>測定4</td><td>負圧・除じん装置の排出吹出口 以下的位置</td><td>計点</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>測定5</td><td>処理作業室外(敷地境界)</td><td>計点</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>測定6</td><td>処理作業室内 (シート養生中)</td><td>計点</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>測定7</td><td>処理作業後シート撤去後1週間 以降</td><td>計点</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>測定8</td><td>調査対象室外部の付近</td><td>計点</td><td></td></tr></table> 測定方法 <table border="1"><tr><th>メンブレンフィルタ直径(mm)</th><th>測定3</th><th>測定1,2,4,6,7,8</th><th>測定5</th></tr><tr><td>25</td><td>25</td><td>47</td><td></td></tr><tr><td>試料の吸引流量(L/min)</td><td>・ 1 ()</td><td>・ 5 ()</td><td>・ 10 ()</td></tr><tr><td>試料の吸引時間(min)</td><td>・ 5 ()</td><td>・ 120 ()</td><td>・ 240 ()</td></tr></table>	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	・	測定1	処理作業前	計点		・	測定2	調査対象室外部の付近	計点		・	測定3	処理作業室内	計点		・	測定4	負圧・除じん装置の排出吹出口 以下的位置	計点		・	測定5	処理作業室外(敷地境界)	計点		・	測定6	処理作業室内 (シート養生中)	計点		・	測定7	処理作業後シート撤去後1週間 以降	計点		・	測定8	調査対象室外部の付近	計点		メンブレンフィルタ直径(mm)	測定3	測定1,2,4,6,7,8	測定5	25	25	47		試料の吸引流量(L/min)	・ 1 ()	・ 5 ()	・ 10 ()	試料の吸引時間(min)	・ 5 ()	・ 120 ()	・ 240 ()
適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)																																																										
・	測定1	処理作業前	計点																																																											
・	測定2	調査対象室外部の付近	計点																																																											
・	測定3	処理作業室内	計点																																																											
・	測定4	負圧・除じん装置の排出吹出口 以下的位置	計点																																																											
・	測定5	処理作業室外(敷地境界)	計点																																																											
・	測定6	処理作業室内 (シート養生中)	計点																																																											
・	測定7	処理作業後シート撤去後1週間 以降	計点																																																											
・	測定8	調査対象室外部の付近	計点																																																											
メンブレンフィルタ直径(mm)	測定3	測定1,2,4,6,7,8	測定5																																																											
25	25	47																																																												
試料の吸引流量(L/min)	・ 1 ()	・ 5 ()	・ 10 ()																																																											
試料の吸引時間(min)	・ 5 ()	・ 120 ()	・ 240 ()																																																											
(9.1.3)	・ 石綿含有吹付け材の除去 除去対象範囲 図示() 除去工法 改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による() 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止 湿潤化 固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 埋立処分(管理型最終処分場) 中間処理(溶融又は無害化による)																																																													
(9.1.4)	・ 石綿含有保温材等の除去 除去対象範囲 図示() 除去方法 改修標準仕様書9.1.4(1)による() 除去した石綿含有保温材等の処分 埋立処分(管理型最終処分場) 中間処理(溶融又は無害化による)																																																													
(9.1.5)	⑤ 石綿含有成形板の除去 除去対象範囲 ○ 図示() 石綿含有せっこうボードの処分 埋立処分(管理型最終処分場) 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板の処分 埋立処分(安定型最終処分場) 中間処理(溶融又は無害化による)																																																													
(9.1.6)	・ 石綿含有仕上塗材の除去 除去対象範囲 図示() 除去した石綿含有仕上塗材等の処分 埋立処分(管理型最終処分場) 中間処理(溶融又は無害化による) ※大気汚染防止法および石綿障害予防規則に加え、「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル(令和3年3月)」に基づき適切に処理すること。 ・ 除去等作業の結果報告 除去等作業が終了したときは環境省令で定めるところにより、その結果を遅延なく発注者に書面で報告すること。																																																													

2 断熱アスファルト防水改修工事 (9.2.1)～ (9.2.3)	改修特記仕様書3章による
3 外断熱改修工事 (9.3.2)	
断熱材 種類 厚さ[mm] ・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 ・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキンなし) ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ フェノールフォーム断熱材 ・ ロックウール断熱材 ・ グラスウール断熱材 ・ ()	
施工箇所 ・ 図示()	
外装材 種類 防火性能 備考 ・	
既存外壁の措置 既存外壁仕上げ材の撤去 あり なし 下地面の清掃 行う 行わない 欠損部の改修工法 充填工法 モルタル塗替え工法()	
(9.3.3) 工法 通気層の有無 あり(mm) なし 断熱材の施工 断熱材製造所の仕様による() 外装材の施工 外装材製造所の仕様による() 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(1 1.15 1.3)倍の風圧力に対応した工法) 適用しない 不陸等の下地調整 行う	
4 断熱・防露改修工事 (9.5.2)	
断熱材打込み工法 種類 厚さ[mm] ・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 ・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキンなし) ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ フェノールフォーム断熱材 ・ ()	
施工箇所 ・ 図示()	
(9.5.3) 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 A種1 A種1H 厚さ(mm) 25 30 施工箇所 ・ 図示()	
現場発泡断熱材 (品質・性能) 工事建築材料等品質性能表による (試験方法) 工事建築材料等品質性能表による	
(9.5.4) 断熱材後張り工法 種類 せっこうボード等の張り付け 厚さ[mm] ・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 有 無 ・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 有 無 ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 有 無 ・ フェノールフォーム断熱材 有 無 ・ () 有 無	
施工箇所 ・ 図示()	
5 屋上緑化改修工事 (9.6.1) (9.6.2)	
植栽基盤及び材料 屋上緑化軽量システム ・ 適用する 適用しない 芝及び地被類の樹種並びに種類等 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ・ 図示()	
(9.6.3) 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(1 1.15 1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) 適用しない かん水装置 ・ 設置する(種類) 既存保護層の撤去 行う 行わない	

6 透水性アスファルト舗装改修工事 (9.5.2)～ (9.5.7) (9.5.9)	既存舗装の撤去及び再利用 路床 路床の材料 種別 材料 厚さ[mm] ・ 盛土 A種 B種 C種 D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 ・ 土上抑制層 ・ 再生クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (7μmふるい通過量10%以下) ・ フィルター層 ・ 砂 ・ ()
路床安定処理 ・ 添加材料による安定処理 種類 普通ボルトランドセメント フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰(特号1号) 消石灰(特号1号) 添加量 kg/m ² (目標CBR 5以上)	
・ ジオテキスタイル 単位面積質量 60g/m ² 以上 厚さ[mm] 0.5～1.0 引張強さ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 1.5×10 ⁻¹ cm/sec 以上	
試験 路床土の支持力比(CBR)試験 行う 行わない 路床締固め度の試験 行う 行わない 現場CBR試験 行う 行わない	
路盤 路盤の構成及び厚さ 図示() 路盤材料 ・ 再生材のクラッシュラン ・ クラッシュラン鋼鉄スラグ ・ 図示() ・ ()	
試験 路盤締固め度の試験 行う 行わない	
舗装 材料 厚さ[mm] ・ ストレートアスファルト 図示() ・ ()	
試験 開裂度アスファルト混合物等の抽出試験 行う 行わない 舗装の平たん性 著しい不陸がないもの()	



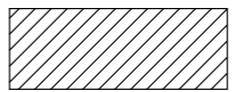
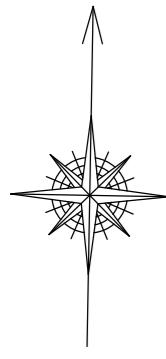
位置図



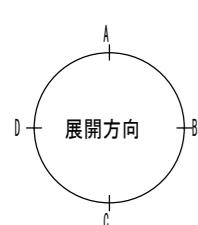
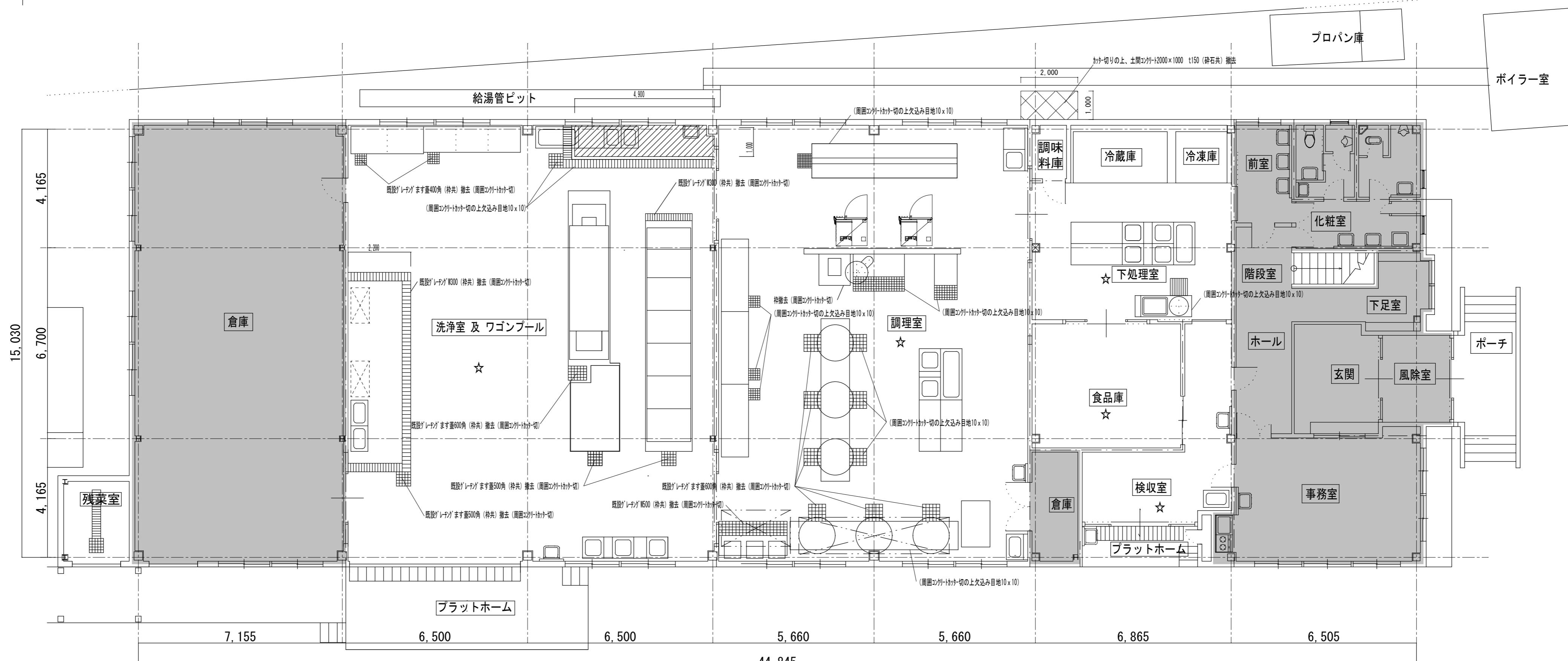
外部仕上表		改修前						改修後					
屋根	軽量発泡コンクリート版 厚50mm (メッシュ入)	貼 緩勾配付 目地補強処理の上 プチルゴム系 防水シート工法	(t=20mm) シルバー仕上	防水改修	(平場) 水洗いの上、ウレタン防水X-1 (立上り) 既設防水撤去の上、下地調整、ウレタン塗膜防水X-2								
	非歩行用露出防水工法	ルーフドレンはしド防水用φ100錆鉄製		ルーフドレン: 改修用ドレン									
	アラカルム底: 強化ポリエチレン板 厚1.0mm折板葺	箱棧は特殊耐酸被覆鋼板 厚0.4加工		アラカルム底: 既設撤去の上ガルバリューム鋼板 t=0.8折板葺替									
	出窓部分: カーボンミ厚1.0mm曲げ加工			既存のまま									
バラベット見付	軽量発泡コンクリート版 厚50mm (メッシュ入) 外面デザインパネル	内面一般パネル貼	1階との境部バラベットは外表面 厚100mm内面50mm貼	エボキシ系吹付け仕上 (RE)	高压水洗の上複層塗材E								
バラベット天端	カーボンミ合木取付 W230・270mm				一時撤去復旧								
軒天井	2階部分: ケイ酸カルシウム板(7mm含有) 厚6mm目透かし貼SOP2回ローラー仕上				下地調整の上EP-6								
基礎土上	モルタル塗り金鏡押え				水洗い								
外壁	2階部: ケイ酸カルシウム板(7mm含有) 厚12mm樹格子貼	複層塗材 (RE) エボキシ系吹付け仕上		ALC面: 高圧水洗、下地調整材Eの上複層塗材E ケイ酸カルシウム板面: 水洗い、下地調整材C-1の上複層塗材E 鉄部、めっき部: DP塗装									
	1階部: 軽量発泡コンクリート版 厚50mm (メッシュ入) 一般パネル貼	複層塗材 (RE) エボキシ系吹付け仕上		ALC目地、化粧目地: 既設シーリング撤去の上 (PU-2) 20mm打替									
開口部	細部は建具リストによる。				開口部廻り既設縫隙の上シーリング (MS-2) 20mm打替								
棟	ルーフドレン: 錆鉄製漆装品φ100 φ75 (庇、車寄せ)	縫隙: 硬質塩化ビニル管 (VP) φ100、φ75金属至鉛メッキ製品 間隔1,000~1,200mm 塗装仕上		縫隙: 既設縫隙の上硬質塩化ビニル管 (VP) φ100新設 (梶み金物共)									
門柱等	軒樋: 硬質塩化ビニル製 角型 前高樋W150 受鉄 垂鉛メッキ製品 間隔1,000mm 塗装仕上			既存のまま									
	床: 鉄筋コンクリート打 金鏡押え 緩勾配付 階段付	17-ホーリング孔埋設IPφ300アルミ化粧ガラリ付		既存のまま									
	洗浄室前プラットホーム庇: カラー垂船・アルミ合金メッキ鋼板 厚0.8mmキャップ式			既存のまま									
バルコニー	プチルゴム系シート防水工法 t 20ウォータートップ仕上 (立上り共)			防水改修 (平場) 水洗いの上、ウレタン防水X-1 (立上り) 既設防水撤去の上、下地調整、ウレタン塗膜防水X-2	手摺: 既存のまま								

内部仕上表		床						天井						廻り線	天井高	備考
室名	床	巾木	腰	壁	天井	仕上材	塗装	仕上材	塗装	仕上材	塗装	仕上材	塗装			
1階 調理室	改修前	コンクリート打同時金鏡押え	塗床仕上	モルタル塗り金鏡押え	IP	モルタル塗り金鏡押え 一部柱型ラスモルタル金鏡押え	SOP2回	ケイ酸カルシウム板 t 6 (7mm含有) 目スカシ貼	既存	ケイ酸カルシウム板 t 6 (7mm含有) 目スカシ貼	既存	塗り	5700			
	改修後	既設塗り床撤去の上 エボキシ樹脂系塗り床塗替	塗床仕上	既存	—	—	—	—	—	—	—	既存	5700	グレーニングます蓋 新設		
洗浄室及 ワゴンプール	改修前	コンクリート打同時金鏡押え	塗床仕上	モルタル塗り金鏡押え	IP	モルタル塗り金鏡押え 一部柱型ラスモルタル金鏡押え	SOP2回	ケイ酸カルシウム板 t 6 (7mm含有) 目スカシ貼	既存	ケイ酸カルシウム板 t 6 (7mm含有) 目スカシ貼	既存	塗り	5700			
	改修後	既設塗り床撤去の上 エボキシ樹脂系塗り床塗替	塗床仕上	既存	—	—	—	—	—	—	—	既存	5700	グレーニング、グレーニングます蓋 新設		
下処理室	改修前	コンクリート打同時金鏡押え	塗床仕上	(既存部) 木脚H100 (既存部、新設部) ビニル巾木 H100	SOP2回	(既存部) インテリヤタイル貼100x100 — 部発泡コンクリート板 t 50貼 (冷蔵庫裏)	(既存部) 木部 SOP2回	ケイ酸カルシウム板 t 6 (7mm含有) 目スカシ貼	既存	ケイ酸カルシウム板 t 6 (7mm含有) 目スカシ貼	既存	塗り	2800			
	改修後	既設塗り床撤去の上 エボキシ樹脂系塗り床塗替	塗床仕上	既存	—	(既存部) 既存のまま (既存部、新設部) ケイ酸カルシウム板 t 6 新設 (一部LOS下地共)	(既存部) 既存のまま (既存部、新設部) NAD塗	既設撤去の上 (天井下地共) 化粧ケイカル板 t 6張 (下地張 シーリングホート t 9.5)	—	既設撤去の上 (天井下地共) 化粧ケイカル板 t 6張 (下地張 シーリングホート t 9.5)	—	既存	2800			
検収室	改修前	コンクリート打同時金鏡押え	塗床仕上	木製H100	SOP2回	ケイ酸カルシウム板 t 6 (7mm含有) 目スカシ貼	SOP2回	—	—	ケイ酸カルシウム板 t 6 (7mm含有) 目スカシ貼	AEP2回	塗り	2500			
	改修後	既設塗り床撤去の上 エボキシ樹脂系塗り床塗替	塗床仕上	既存	—	—	—	—	—	既設撤去の上 (上上げのみ共) 化粧ケイカル板 t 6張 (下地張 シーリングホート t 9.5)	—	既存	2500			
食品庫	改修前	コンクリート打同時金鏡押え	—	木製H100	SOP2回	ケイ酸カルシウム板 t 6 (7mm含有) 目スカシ貼	SOP2回	—	—	ケイ酸カルシウム板 t 6 (7mm含有) 目スカシ貼	AEP2回	塗り	2700			
	改修後	エボキシ樹脂系塗床	塗床仕上	既存	—	—	—	—	—	—	—	—	2700			
階段室	改修前	長尺塗ビシート貼	—	木製H100	SOP2回	テバーボード t 12下地ビニール貼	—	—	—	化粧吸音板 t 12 叩か木系 (倍貼) ハイカーボード t 9	—	塗り				
	改修後	既存	—	既設撤去の上、 巾木 (米カット) H100 新設	SOP塗り	手摺設置部: 既設テバーボード撤去の上、補強用ラワンベニヤ t 12下地 ビニールクロス貼替 H=1000	既存	—	—	木部 SOP2回	—	既存		手摺新設 (片側のみ)		
ホール	改修前	長尺塗ビシート貼	—	木製H100	SOP2回	テバーボード t 12下地ビニール貼	木部 SOP2回	—	—	化粧吸音板 t 12 叩か木系 (倍貼) ハイカーボード t 9	—	塗り	2600			
	改修後	既存	—	—	—	—	—	—	—	一部塗貼下地共撤去の上 化粧吸音板 t 12 叩か木系貼替 (下地張 石こうボード t 9.5)	—	塗り	2600			
大会議室	改修前	長尺塗ビシート貼	—	木製H100	SOP2回	耐水合板 t 5.5目スカシ下地ビニールクロス貼	—	—	—	化粧吸音板 t 12 叩か木系 (倍貼) ハイカーボード t 9	—	塗り	2700			
	改修後	既存	—	既存	SOP 塗替	既設合板撤去の上 耐水合板 t 5.5下地ビニールクロス貼	—	既設ボード撤去の上 耐水合板 t 5.5下地ビニールクロス貼	—	一部塗貼下地共撤去の上 化粧吸音板 t 12 叩か木系貼替 (下地張 石こうボード t 9.5)	—	塗り	2700			

D P塗装: 耐候性塗料 S O P塗装: 合成樹脂調合ペイント N A D塗装: アクリル樹脂系非分散形塗料

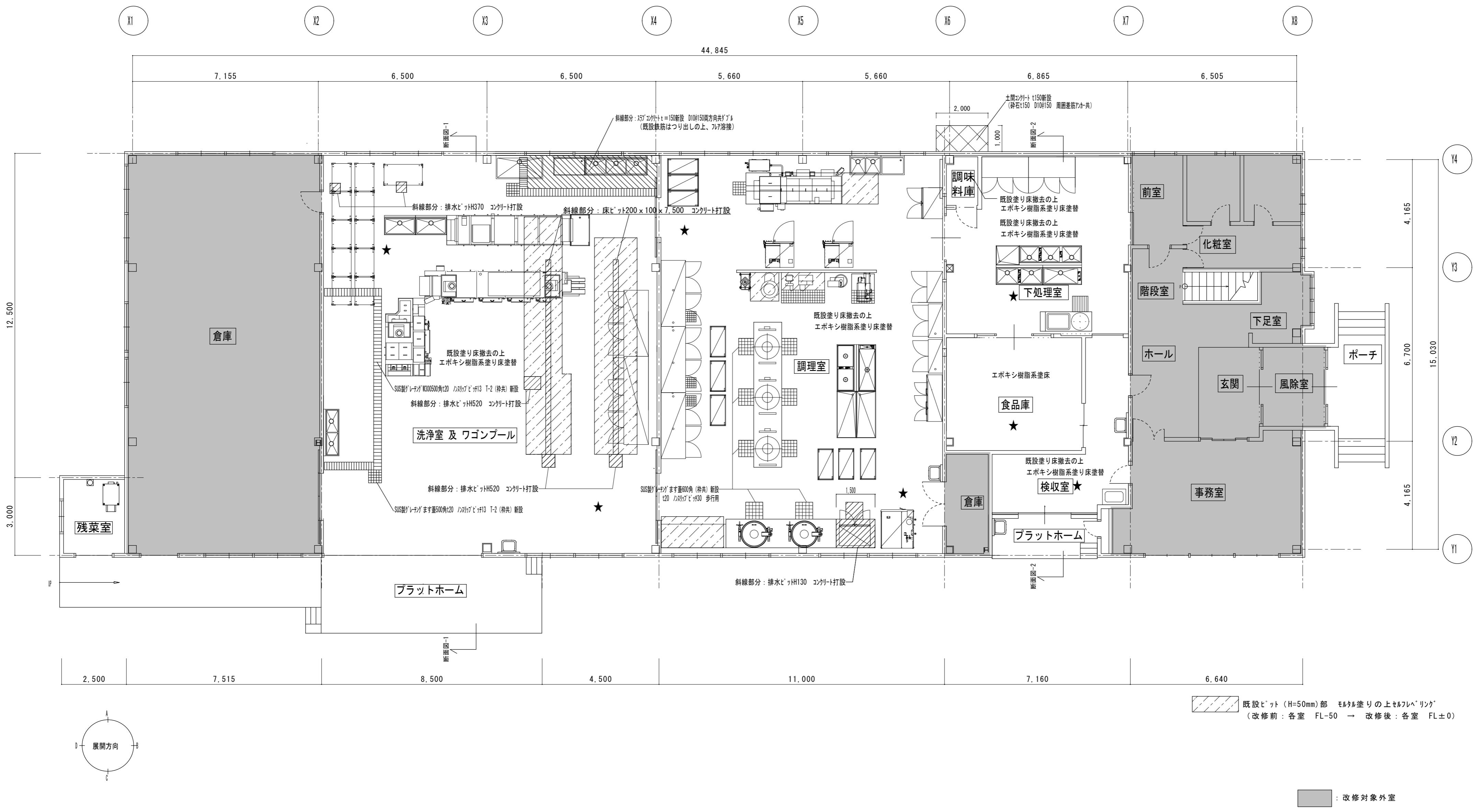


斜線部分：既設スラブ撤去範囲を示す
スラブ部はカット切の上はつり撤去
(既設ガレージ t=150 D10t150両方向カット)

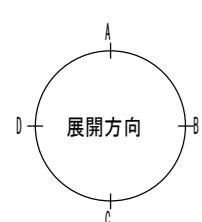
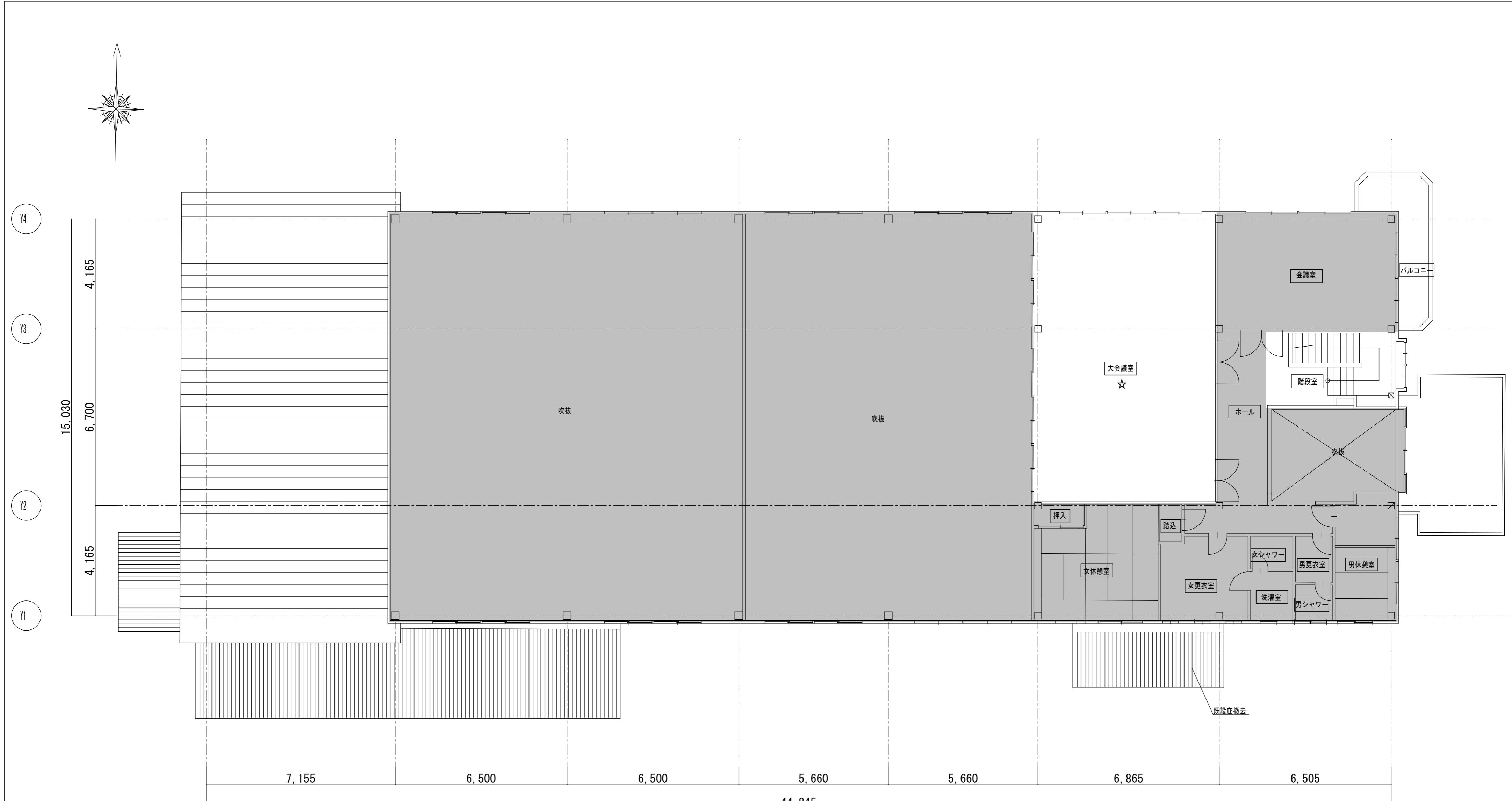


: 改修対象外室

化学物質濃度測定対象室 着工前: ☆、着工後: ★	NAGAOKA 一級建築士事務所	長岡 設計	津市一志学校給食センター長寿命化改修工事 改修前 1階平面図	令和 年 月 A-8 (原図A-2)
				管理建築士 一級建築士第236153号 長岡 忠明



化学物質濃度測定対象室 着工前: ☆、着工後: ★	NAGAOKA 一級建築士事務所	長岡 設計	津市一志学校給食センター長寿命化改修工事 改修後 1階平面図	令和 年 月 A-9 (原図A-2)
				管理建築士 一級建築士第236153号 長岡 忠明



X1

X2

X3

X4

X5

X6

X7

X8

: 改修対象外室

化学物質濃度測定対象室
着工前：☆、着工後：★

NAGAOKA
一級建築士事務所

長岡 設計

津市一志学校給食センター長寿命化改修工事

改修前 2階平面図

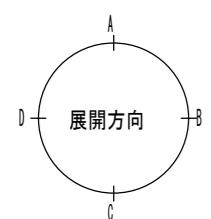
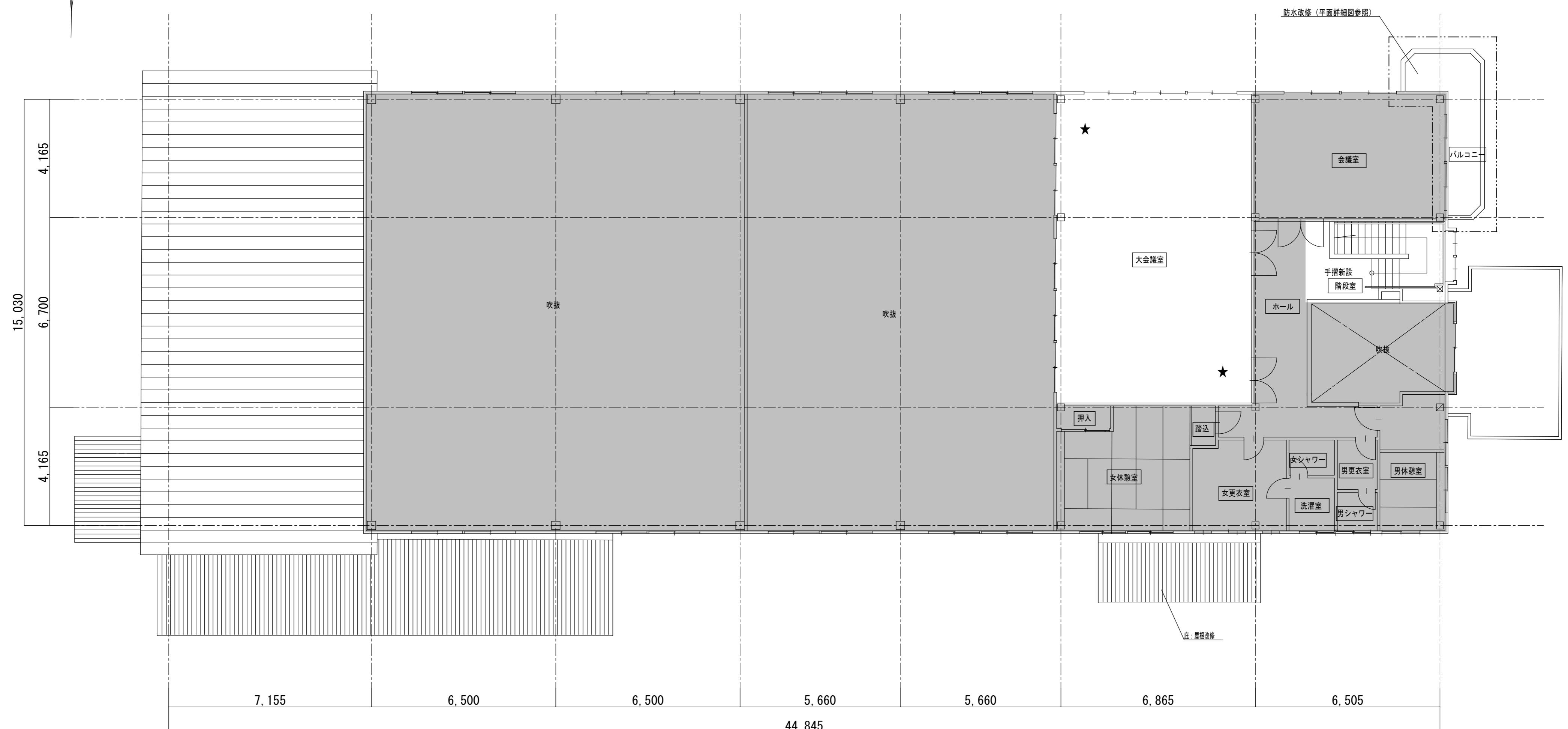
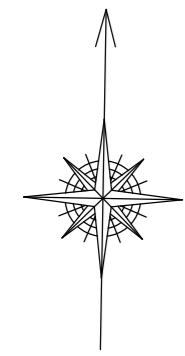
令和 年 月

A-10 (原図 A-2)

管理建築士
一級建築士第236153号

長岡 忠明

1/100



X1

X2

X3

X4

X5

X6

X7

X8

: 改修対象外室

化学物質濃度測定対象室
着工前：☆、着工後：★

NAGAOKA
一級建築士事務所

長岡 設計

津市一志学校給食センター長寿命化改修工事

改修後 2階平面図

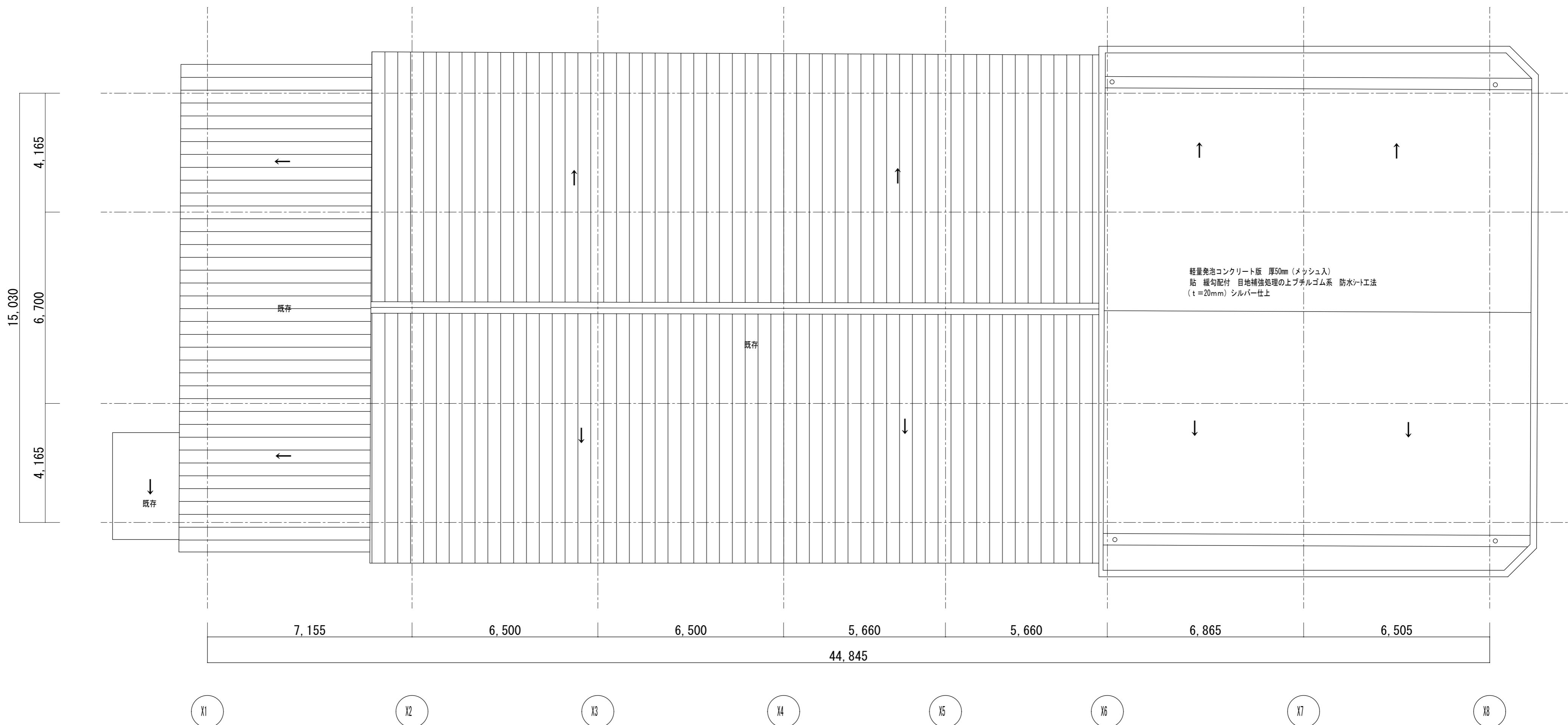
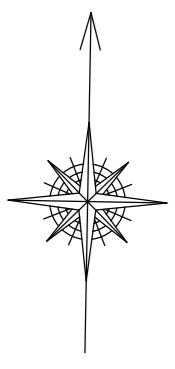
令和 年 月

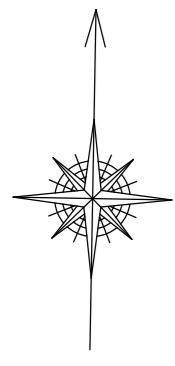
H11 (原図A-2)

管理建築士
一級建築士第236153号

長岡 忠明

1/100





Y4

Y3

Y2

Y1

4,165

15,030

6,700

4,165

7,155

6,500

6,500

5,660

5,660

6,865

6,505

44,845

X1

X2

X3

X4

X5

X6

X7

X8

NAGAOKA
一級建築士事務所

長岡 設計

津市一志学校給食センター長寿命化改修工事

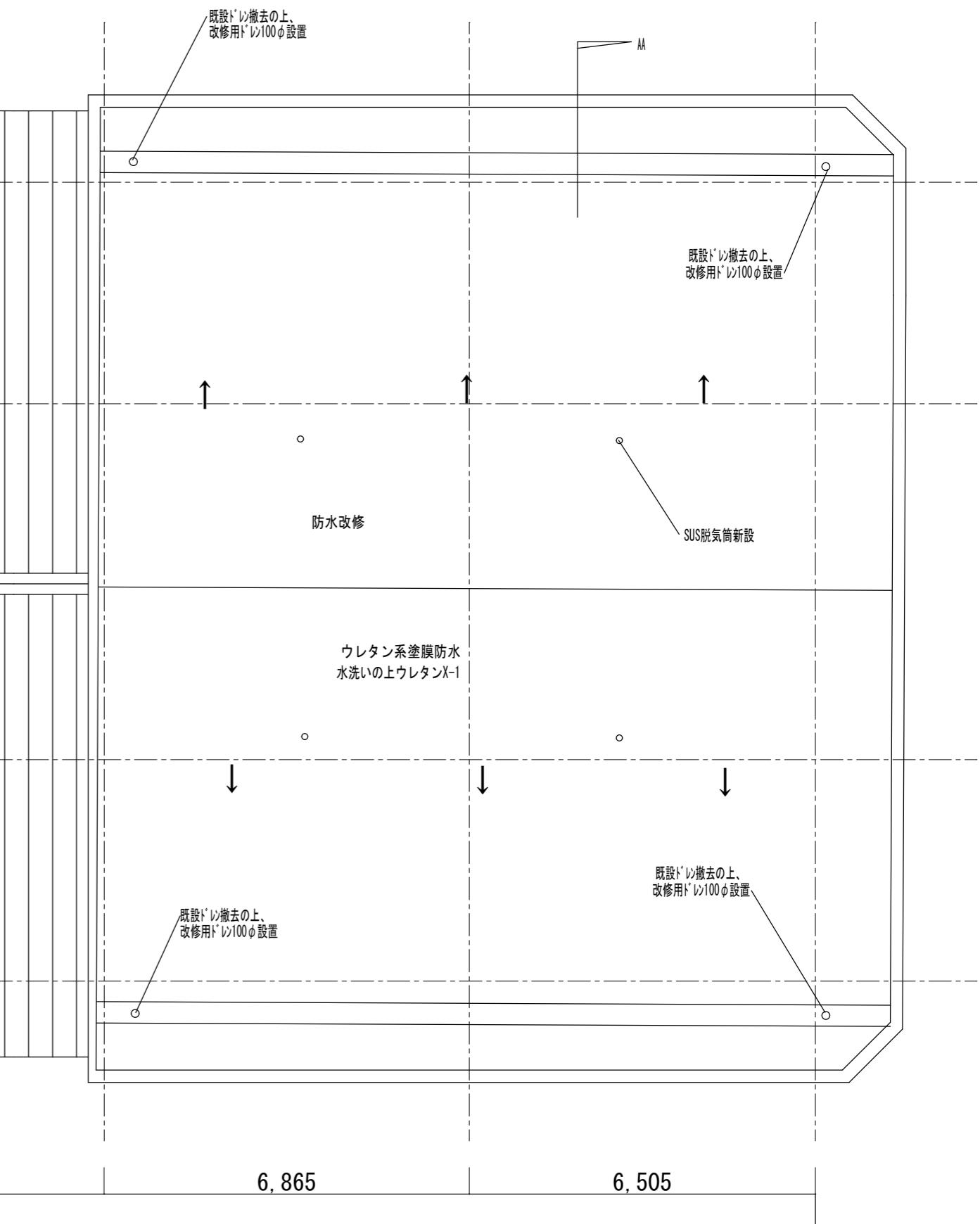
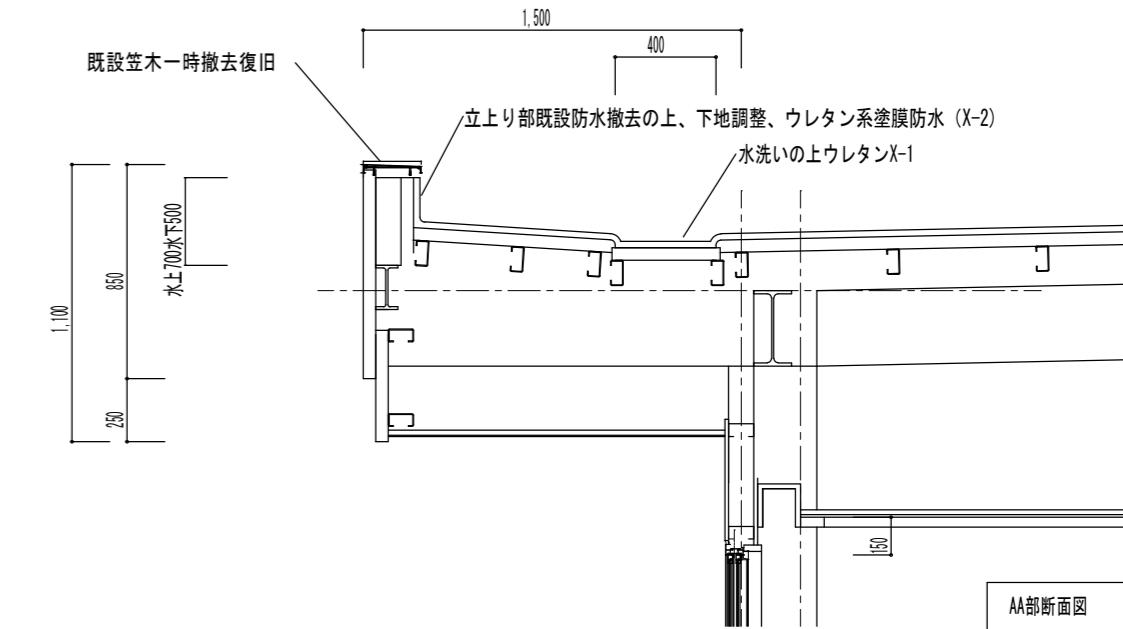
改修後 屋上階平面図

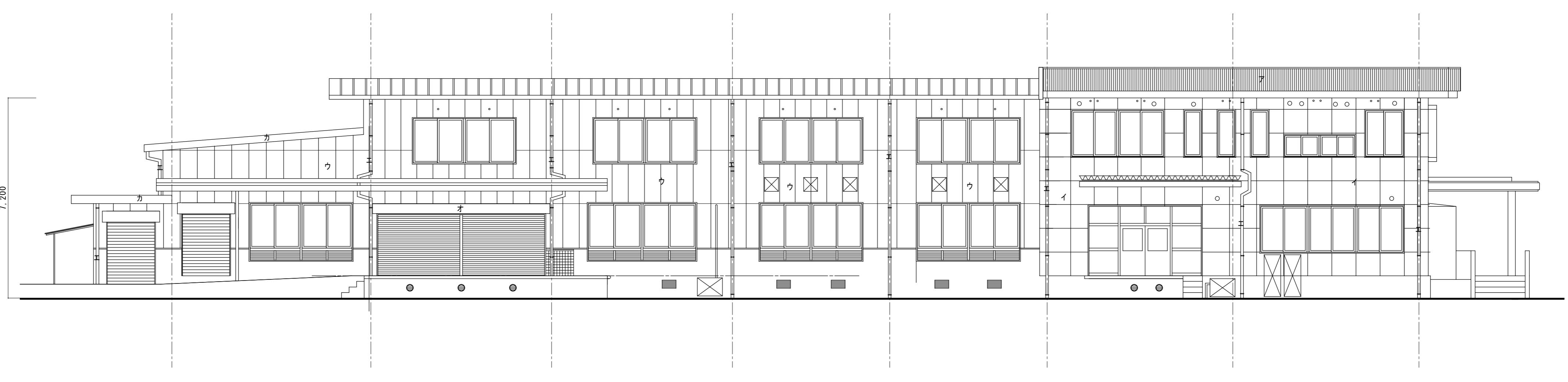
令和 年 月

H21 (原図A-2)

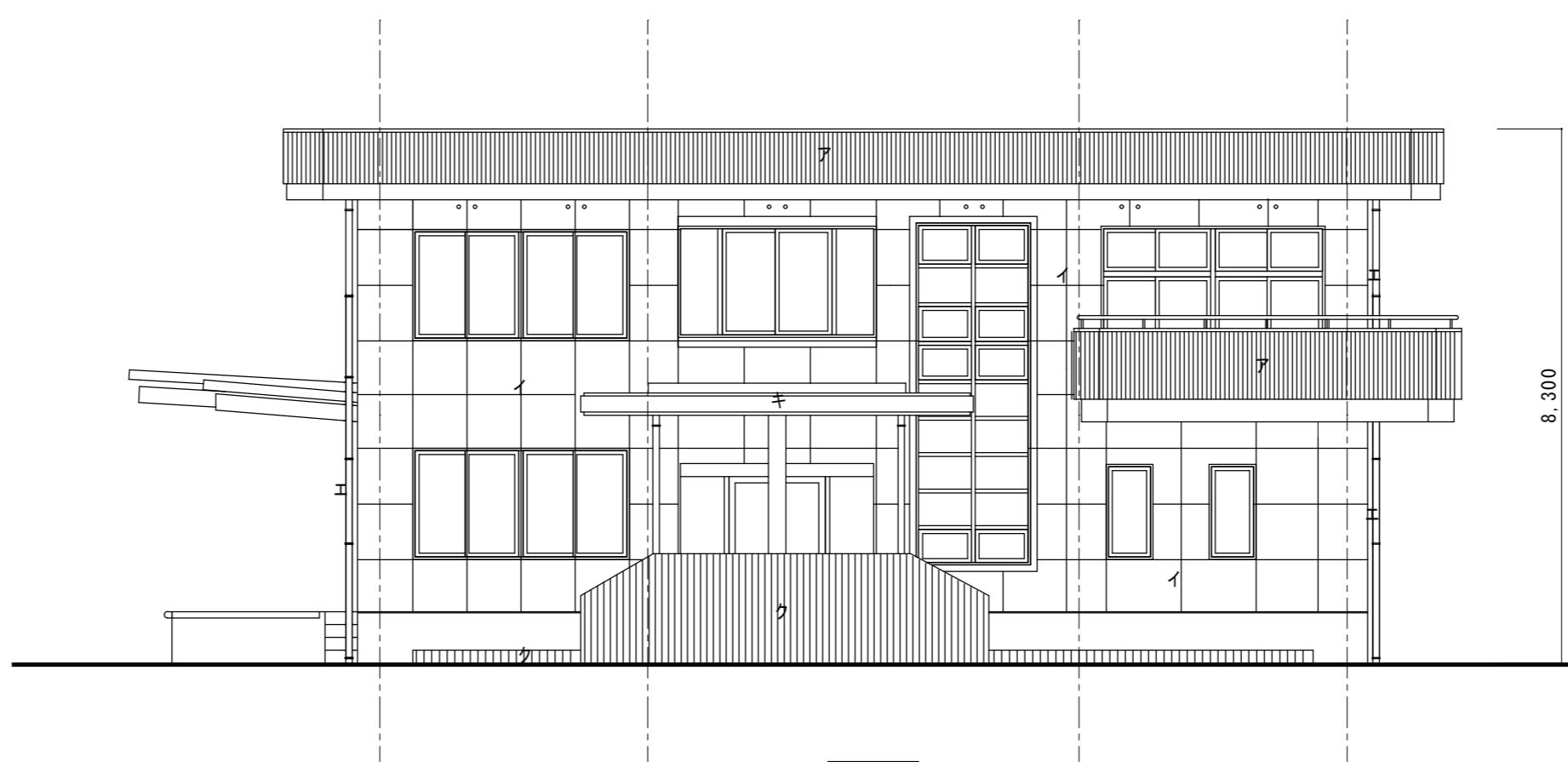
管理建築士
一級建築士第23615号

長岡 忠明





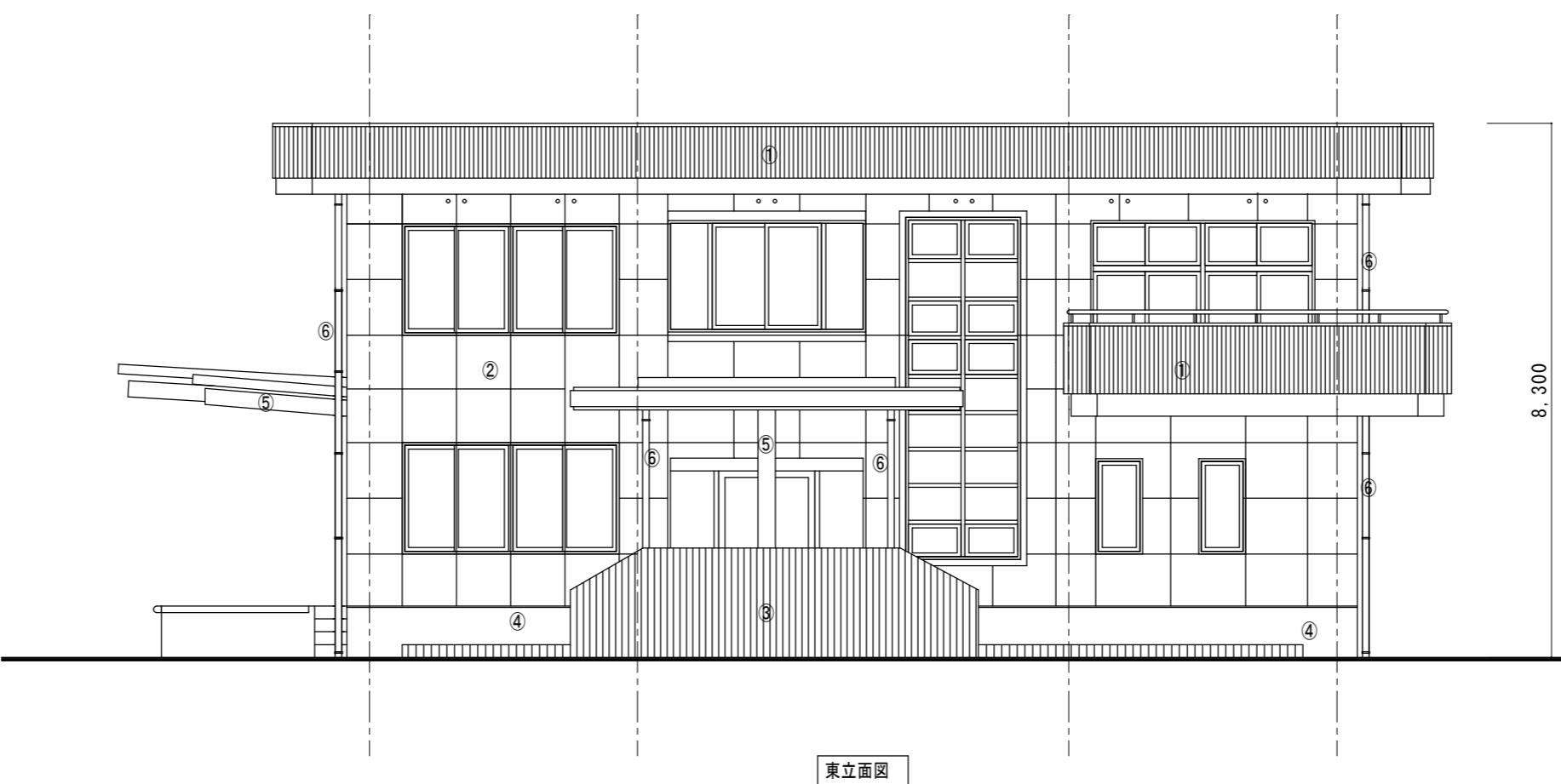
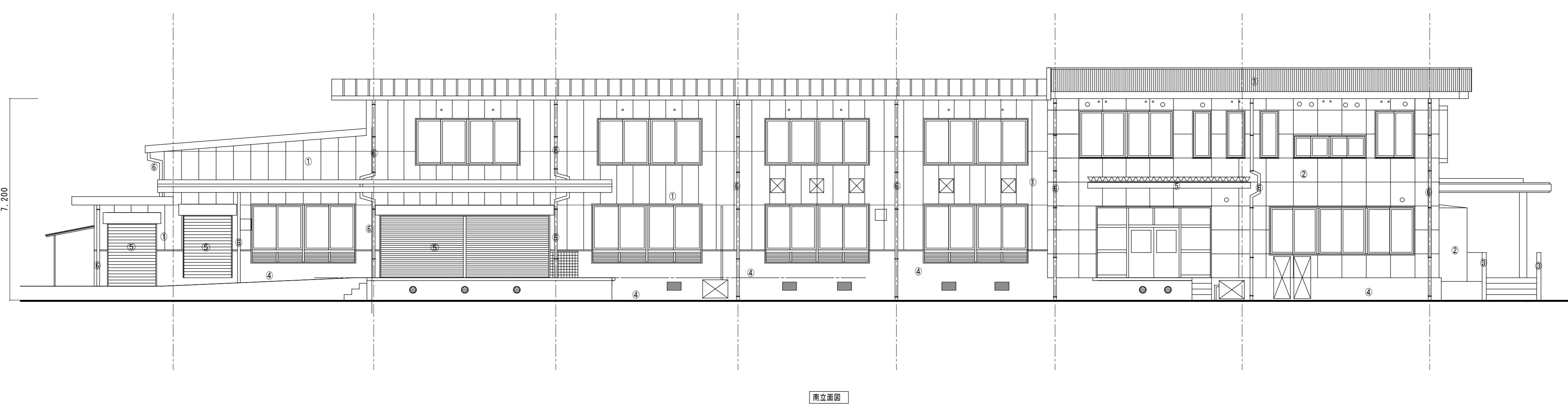
南立面図



東立面図

仕上げリスト

ア	軽量発泡コンクリート版 厚50mm(メッシュ入) 外面デザインパネル
イ	ケイ酸カルシウム板 厚12mm樹格子貼 目地巾20mm
ウ	軽量発泡コンクリート版 厚50mm(メッシュ入) 一般パネル貼
エ	縦縫:硬質塩化ビニル管 (VP) φ100、φ75埋金物垂鉛メッキ製品 間隔1,000~1,200mm 塗装仕上
オ	I7-カーテン風導孔埋設VPφ300アルミニ化粧ガラリ付
カ	カラー垂鉛・アルミ合金メッキ鋼板 厚0.8mmキャップ式
キ	カラーアルミパネル
ク	コンクリート打放し エポキシ系吹付タイル (RE)



改修仕上リスト	
①	高圧水洗、下地調整材Eの上複層塗材E ALC目地：既設シーリング撤去の上 (PU-2) 20mm打替
②	水洗い、下地調整材C-1の上複層塗材E 化粧目地：既設シーリング撤去の上 (PU-2) 20mm打替
③	高圧水洗、下地調整材C-1の上複層塗材E
④	巾木：水洗い
⑤	鉄部、めっき部：DP塗装
⑥	縦縫：既設縦縫撤去の上硬質塩化ビニル管 (VPカラ-) φ100新設 (組み金物共)

※：外壁に設置の設備配線、配管は見付100mm以下のものは外壁塗装と同様に塗装改修するものとする。

NAGAOKA
一級建築士事務所

長岡 設計

津市一志学校給食センター長寿命化改修工事

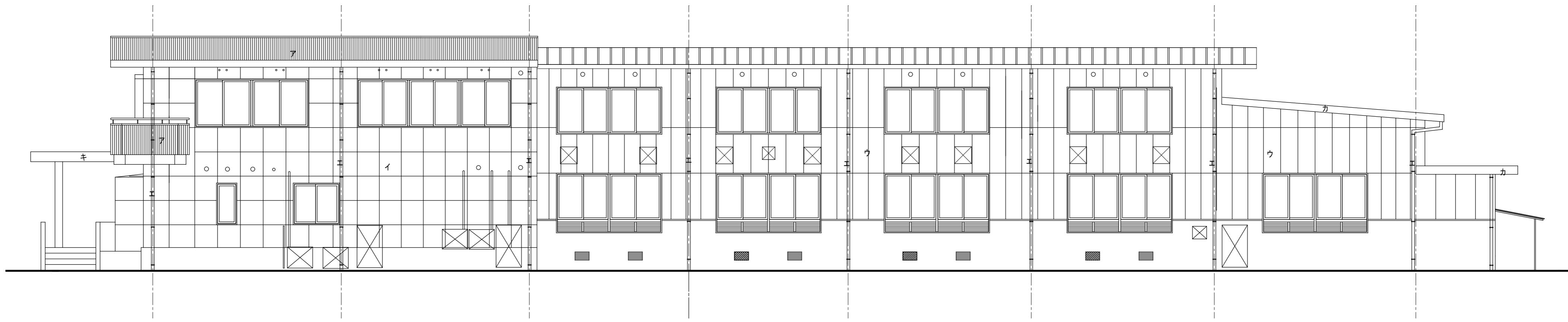
改修後 立面図-1

1/100

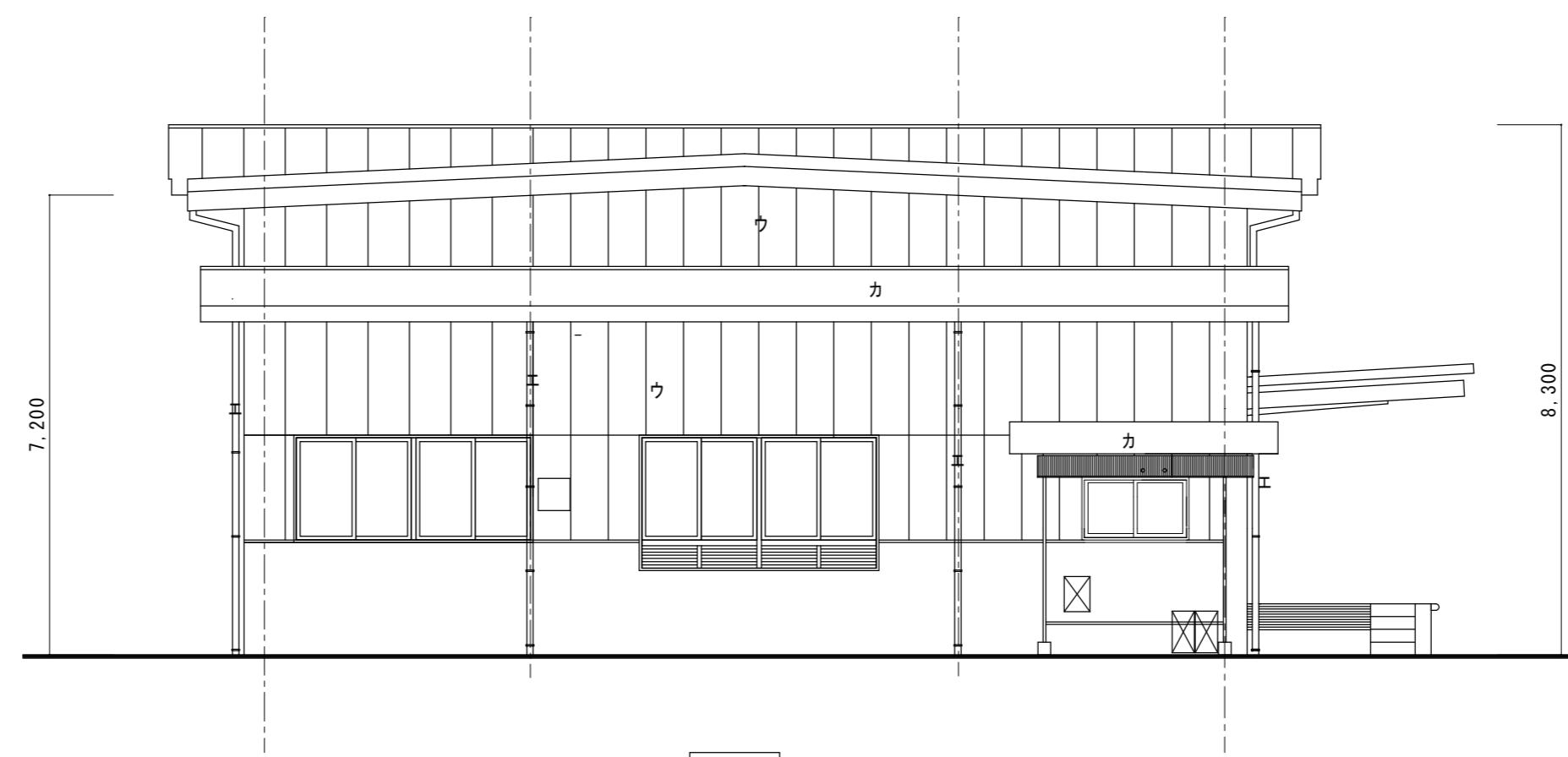
令和 年 月

A-15 (原図A-2)

管理建築士
一級建築士第236153号
長岡 忠明



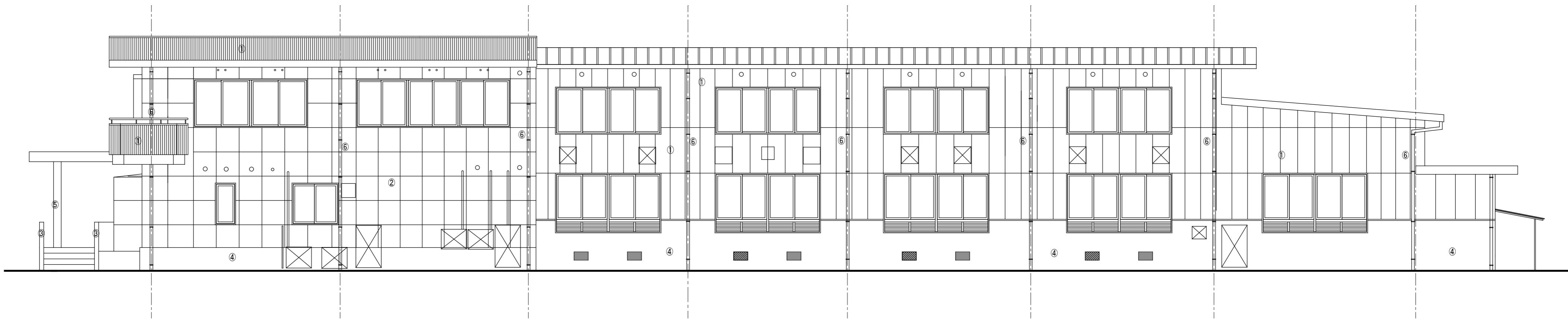
北立面図



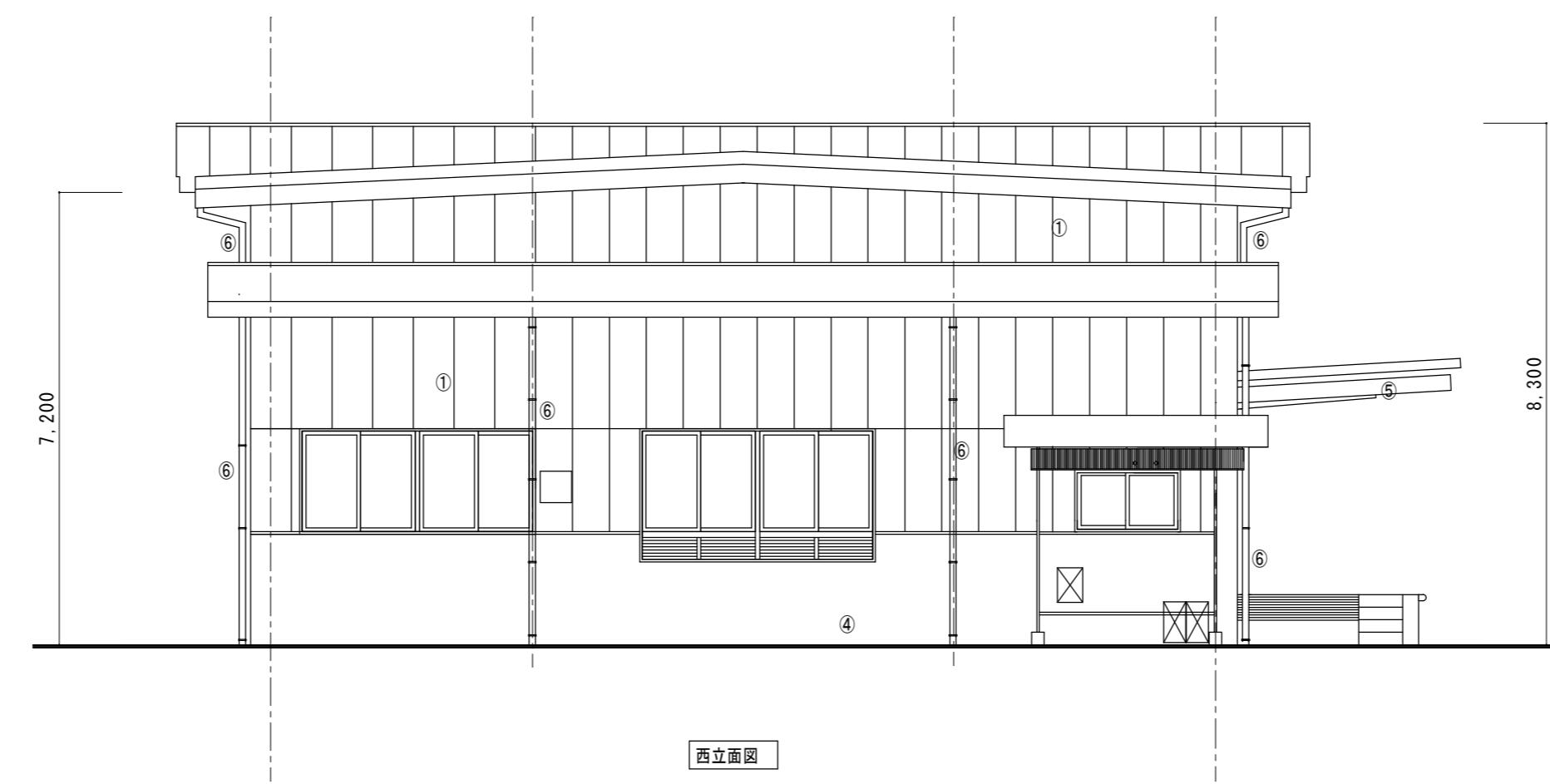
西立面図

仕上げリスト

ア	軽量発泡コンクリート版 厚50mm（メッシュ入）外縁ガラスパネル
イ	ケイ酸カルシウム板 厚12mm樹脂子貼 目地巾20mm
ウ	軽量発泡コンクリート版 厚50mm（メッシュ入）一般パネル貼
エ	縦縫：硬質塩化ビニール管 (VP) φ100、φ75埋金物垂船メッキ製品 間隔1,000~1,200mm 塗装仕上
オ	エアーフィル風導孔埋設VP φ300アルミニ化粧ガラリ付
カ	カラー垂鉛・アルミ合金メッキ鋼板 厚0.8mmキャップ式
キ	カラーアルミパネル
ク	コンクリート打放し エポキシ系吹付タイル (RE)



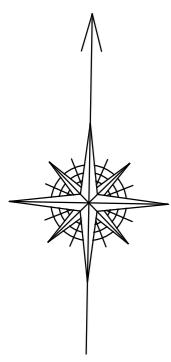
北立面図



西立面図

改修仕上リスト	
①	高圧水洗、下地調整材Eの上複層塗材E ALC目地：既設シーリング撤去の上 (PU-2) 20mm打替
②	水洗い、下地調整材C-1の上複層塗材E 化粧目地：既設シーリング撤去の上 (PU-2) 20mm打替
③	高圧水洗、下地調整材C-1の上複層塗材E
④	巾木：水洗い
⑤	鉄部、めっき部：DP塗装
⑥	継縫：既設継縫撤去の上硬質塩化ビニル管 (VPカラー) φ100新設 (組み金物共)

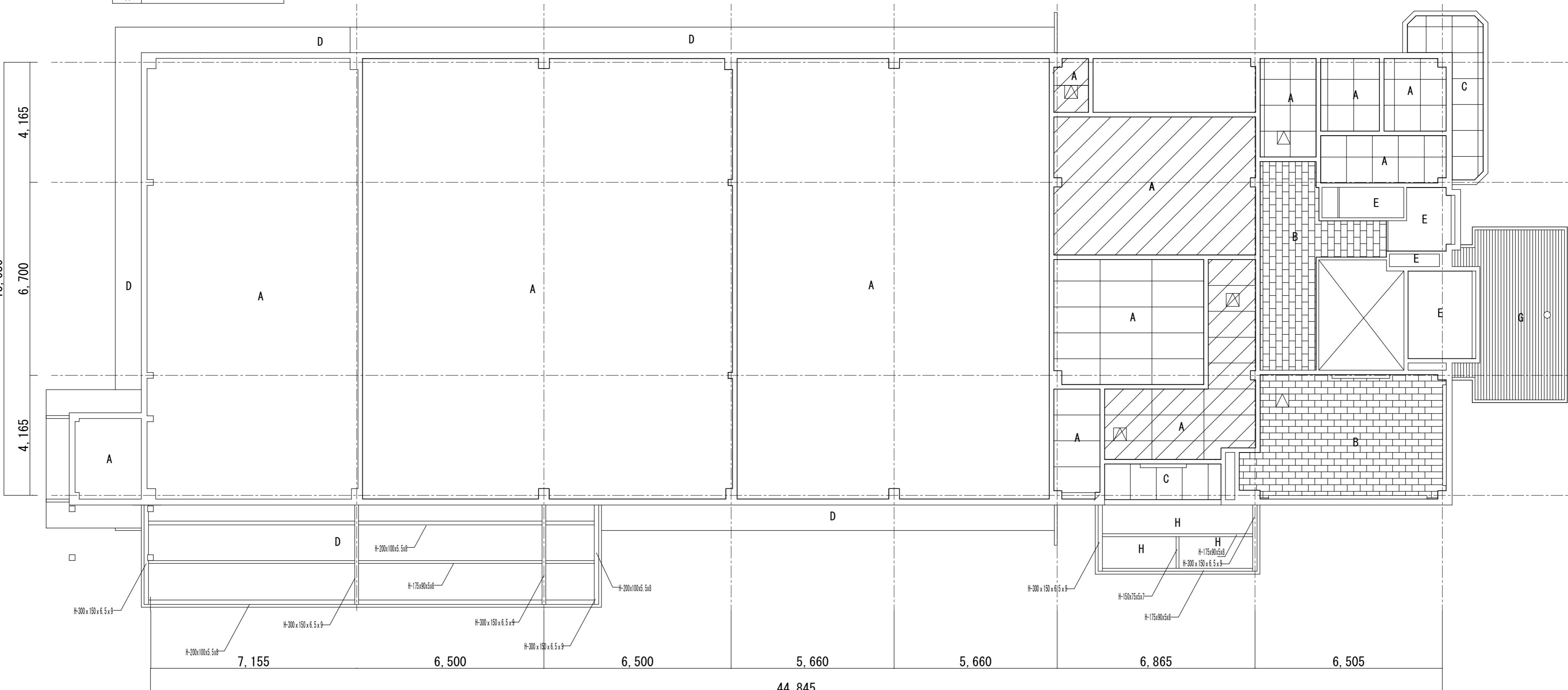
※：外壁に設置の設備配線、配管は見付100mm以下のものは外壁塗装と同様に塗装改修するものとする。



仕上げリスト	
A	ケイカル板 $t=6$ 目スカシ張
B	化粧吸音板 $t=12$ ロッカーハ系 (捨張フタタボード $t=9$)
C	ケイカル板 $t=6$ 目スカシ張SOP塗
D	屋根折板断熱材裏貼り 表し
E	テーブル下地ビニールクロス
F	耐水合板 $t=4$
G	アルミスパンドレル
H	強化ガラスパネル板 $t=1.0$ 折板葺 撤去

△ 天井点検口アルミ枠450×450

斜線部分：撤去範囲を示す（下処理室、調味料庫は下地LGS共）



X1

X2

X3

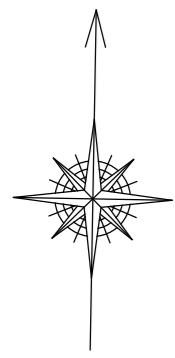
X4

X5

X6

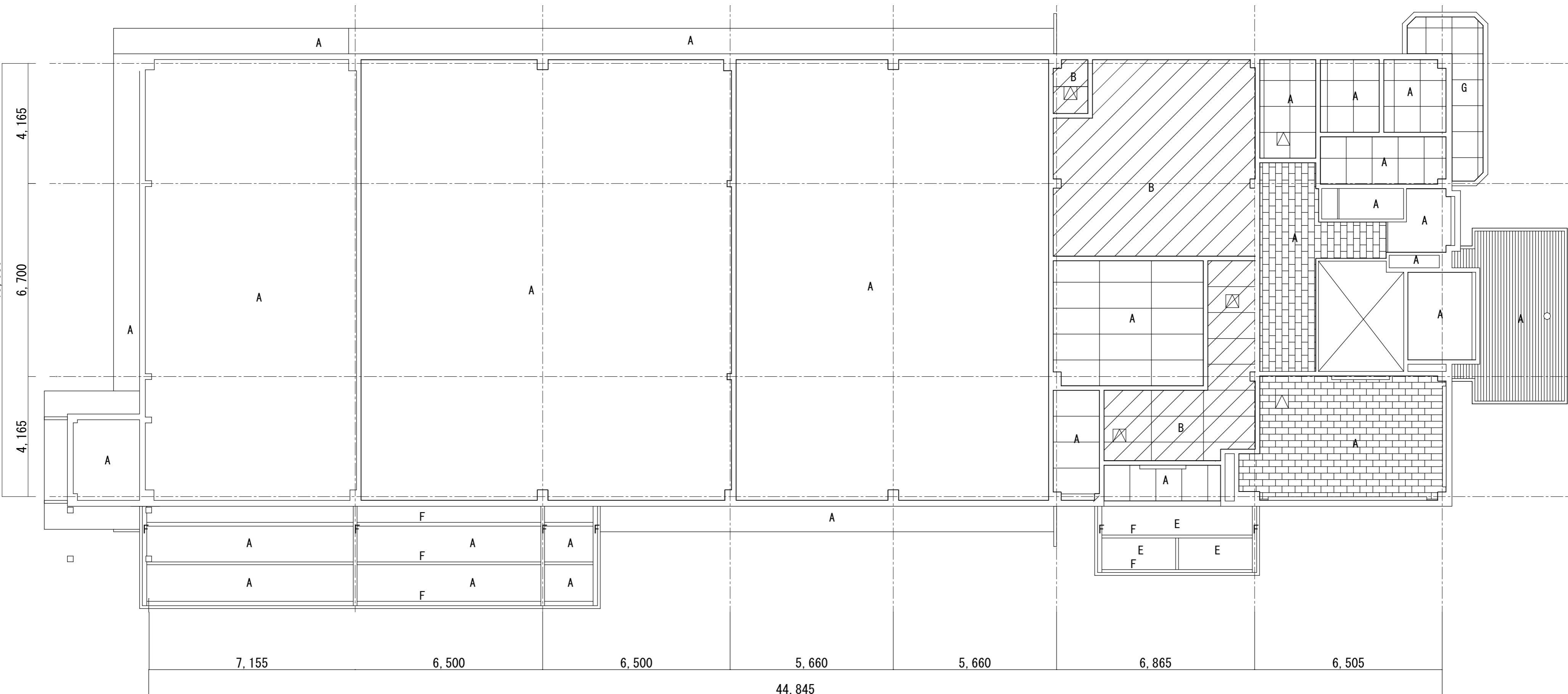
X7

X8

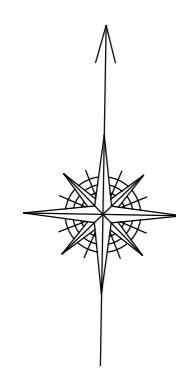


仕上げリスト	
A	既存のまま
B	既設撤去の上（下処理室、調味料庫は天井下地共）化粧合板張t=8（下地張t=4 石こうボードt=9.5）
C	ケイカル板t=8目スカシ張
D	天井指張下地共撤去の上化粧合板t=12mmカーブ系貼替（下地張 石こうボードt=9.5）
E	ガルバリウム鋼板t=0.8折板置替
F	鉄部：DP塗装
G	EP-G塗替
△	天井点検口アルミ枠600×600

斜線部分：新設範囲を示す（下処理室、調味料庫は下地LGS共）

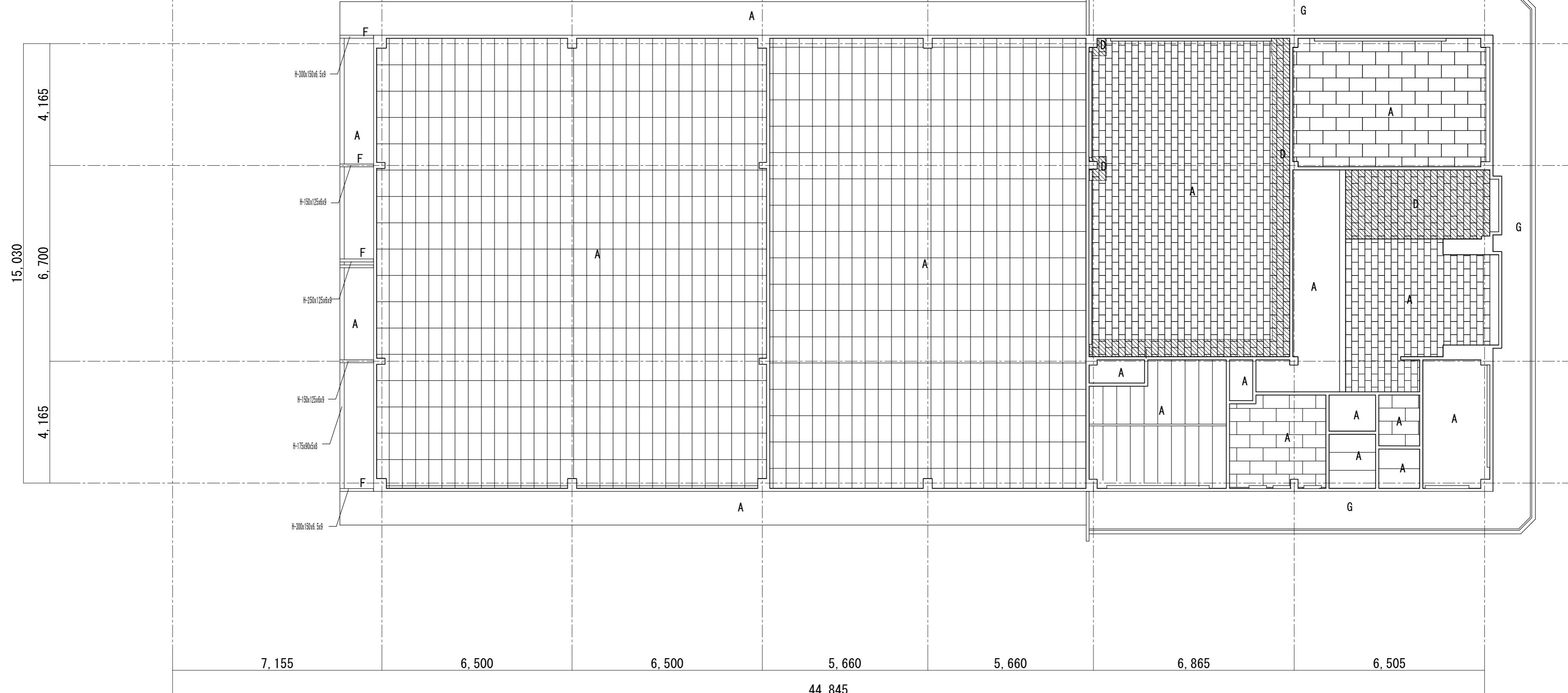






仕上げリスト

A	既存のまま
B	既設撤去の上(下処理室、調味料庫は天井下地共) 化粧材替換(下地張り合板)石こうボードt9.5)
C	ケイカル板 t=6目スカシ張
D	天井捨張下地共撤去の上 化粧音板 t=120mm系替換(下地張 石こうボードt9.5)
E	天井内側板 t=0.8mm板割替
F	鉄部: DP塗装
G	EP-G塗替
△	天井点検口アルミ枠600×600

斜線部分: 改修範囲を示す
(仕上げ、捨張共)

X1

X2

X3

X4

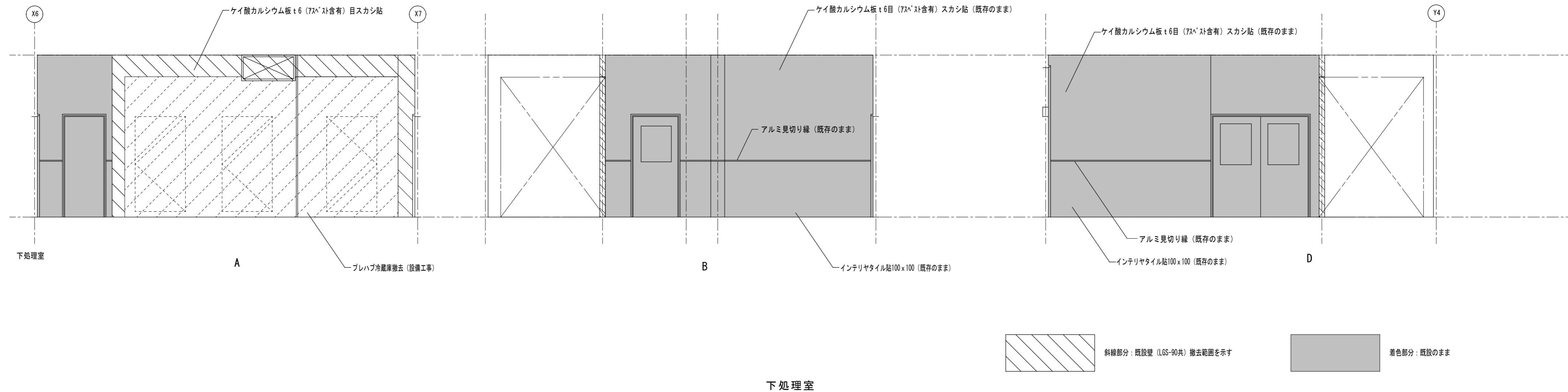
X5

X6

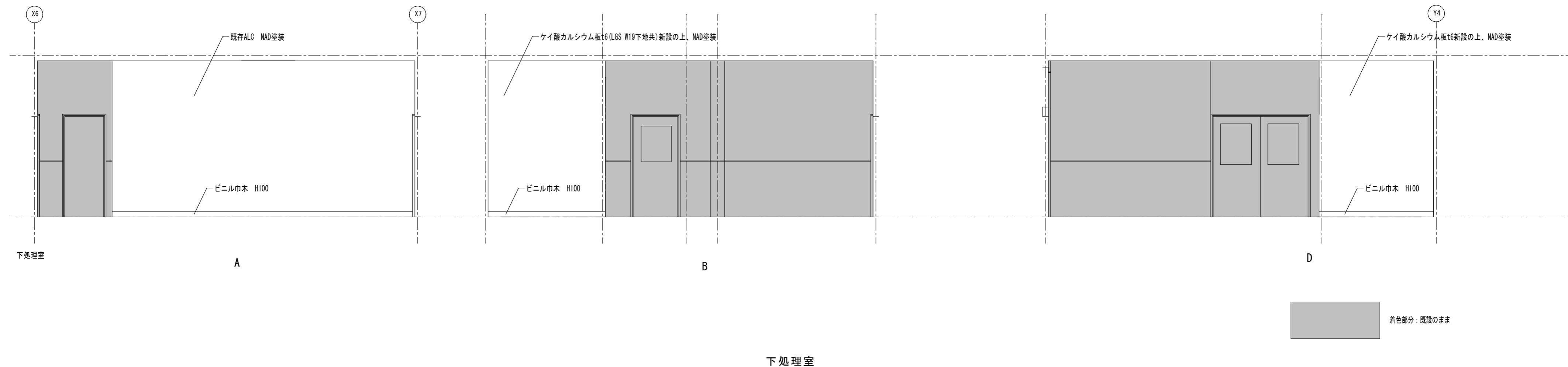
X7

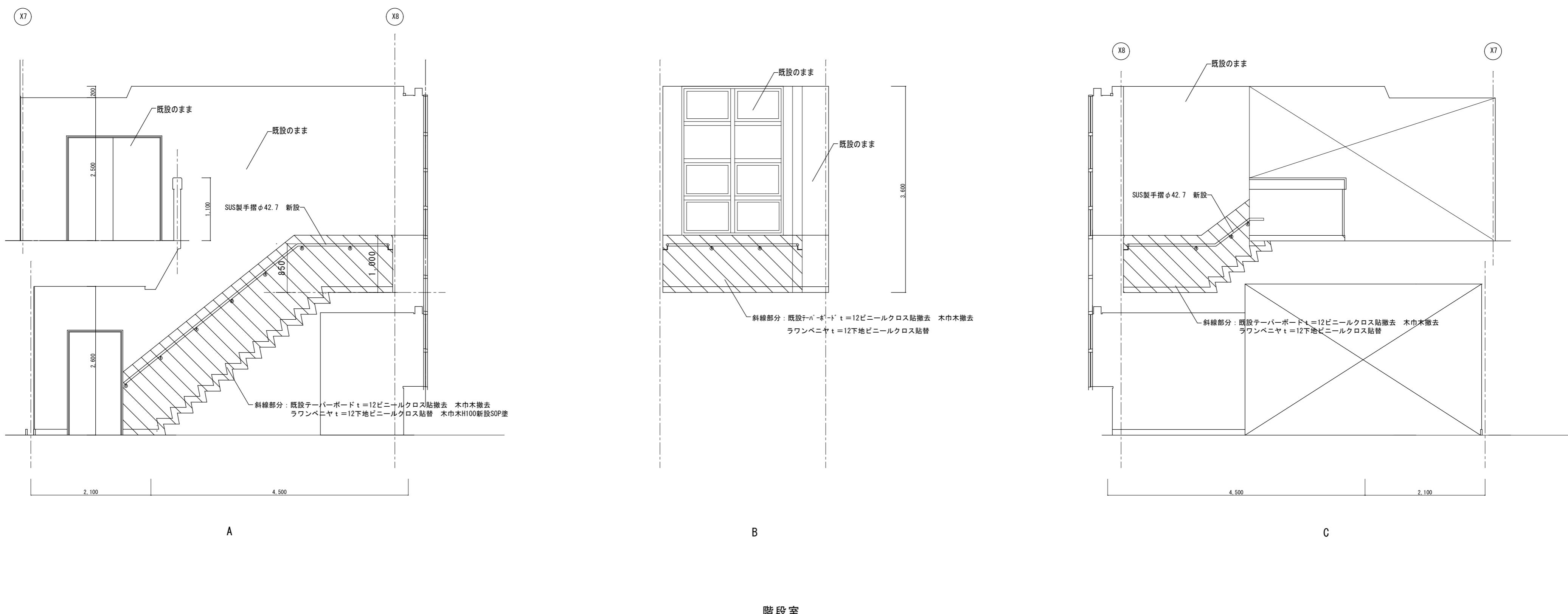
X8

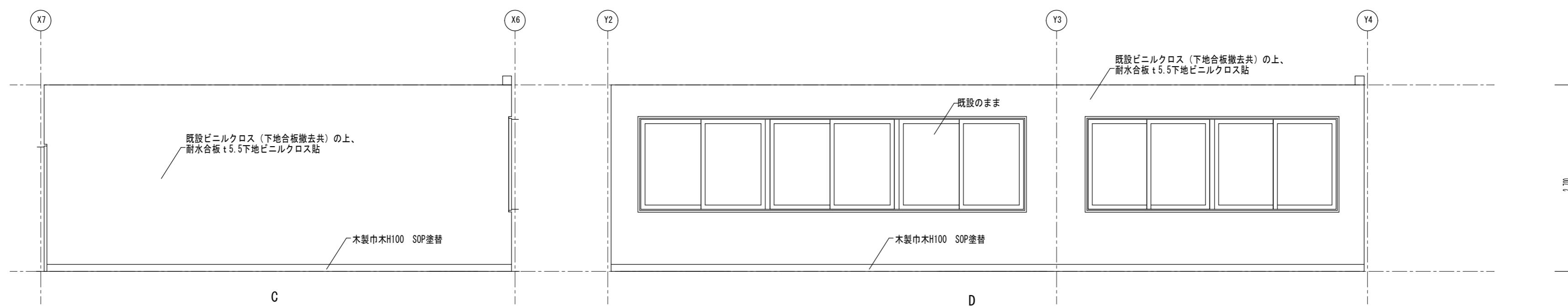
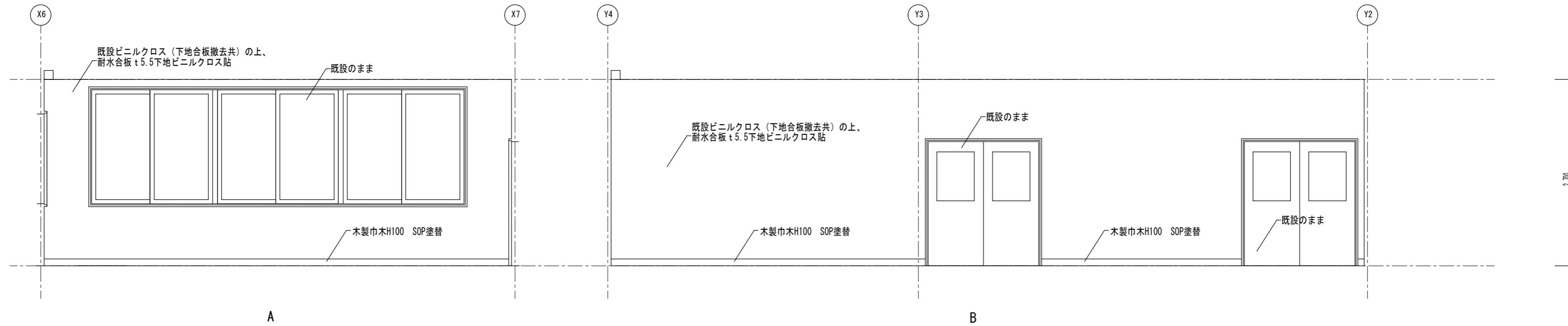
改修前



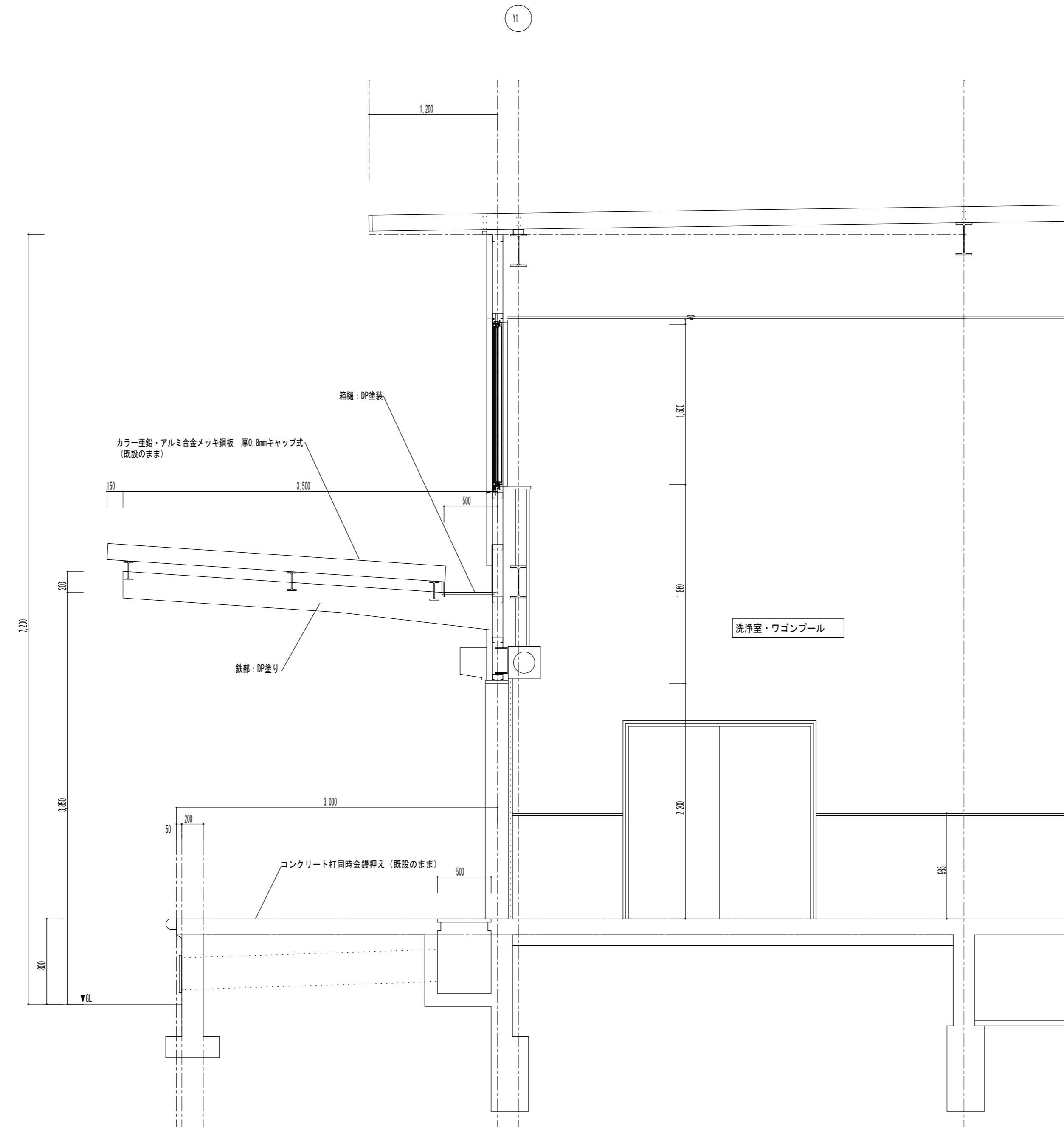
改修後

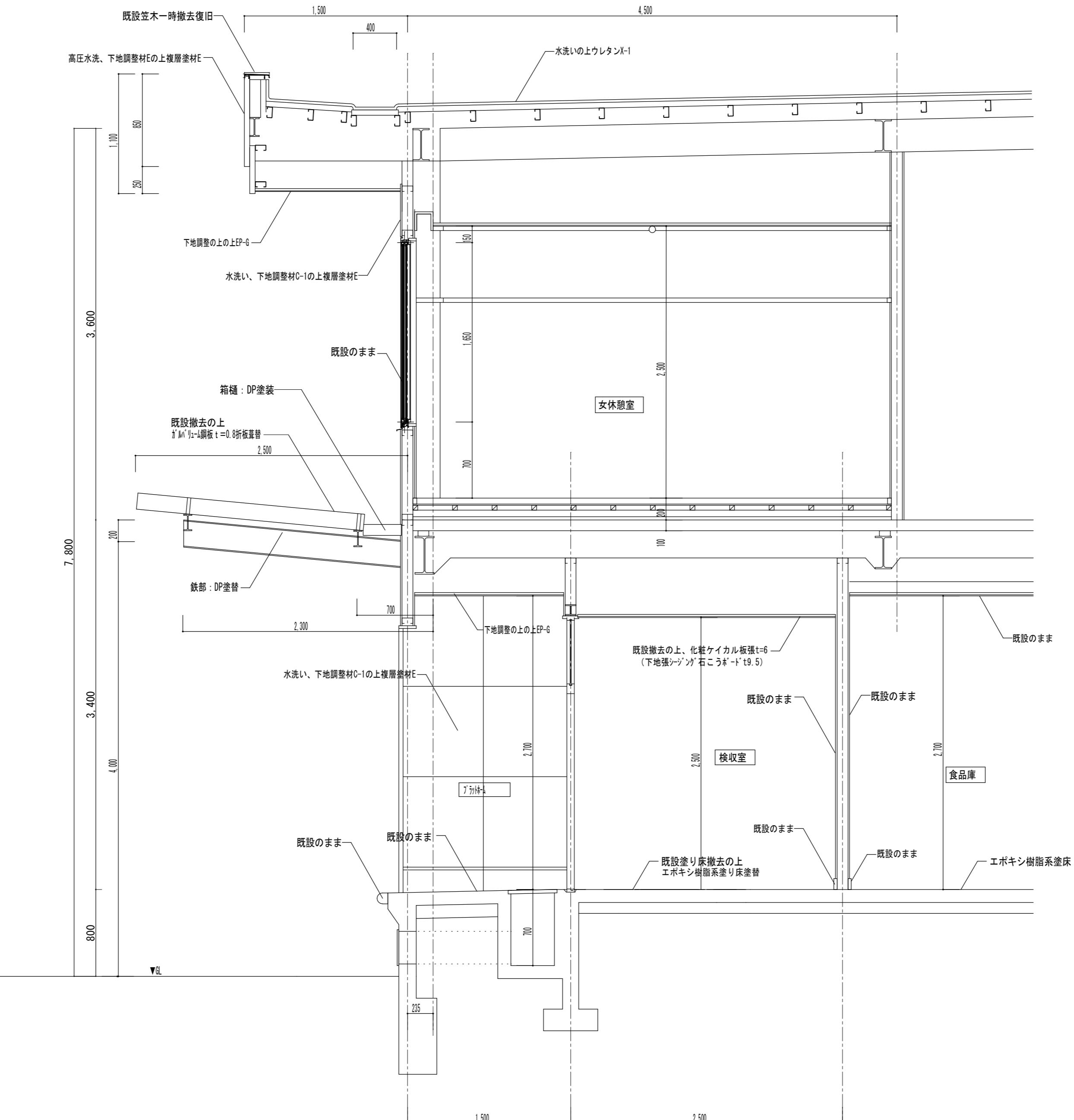


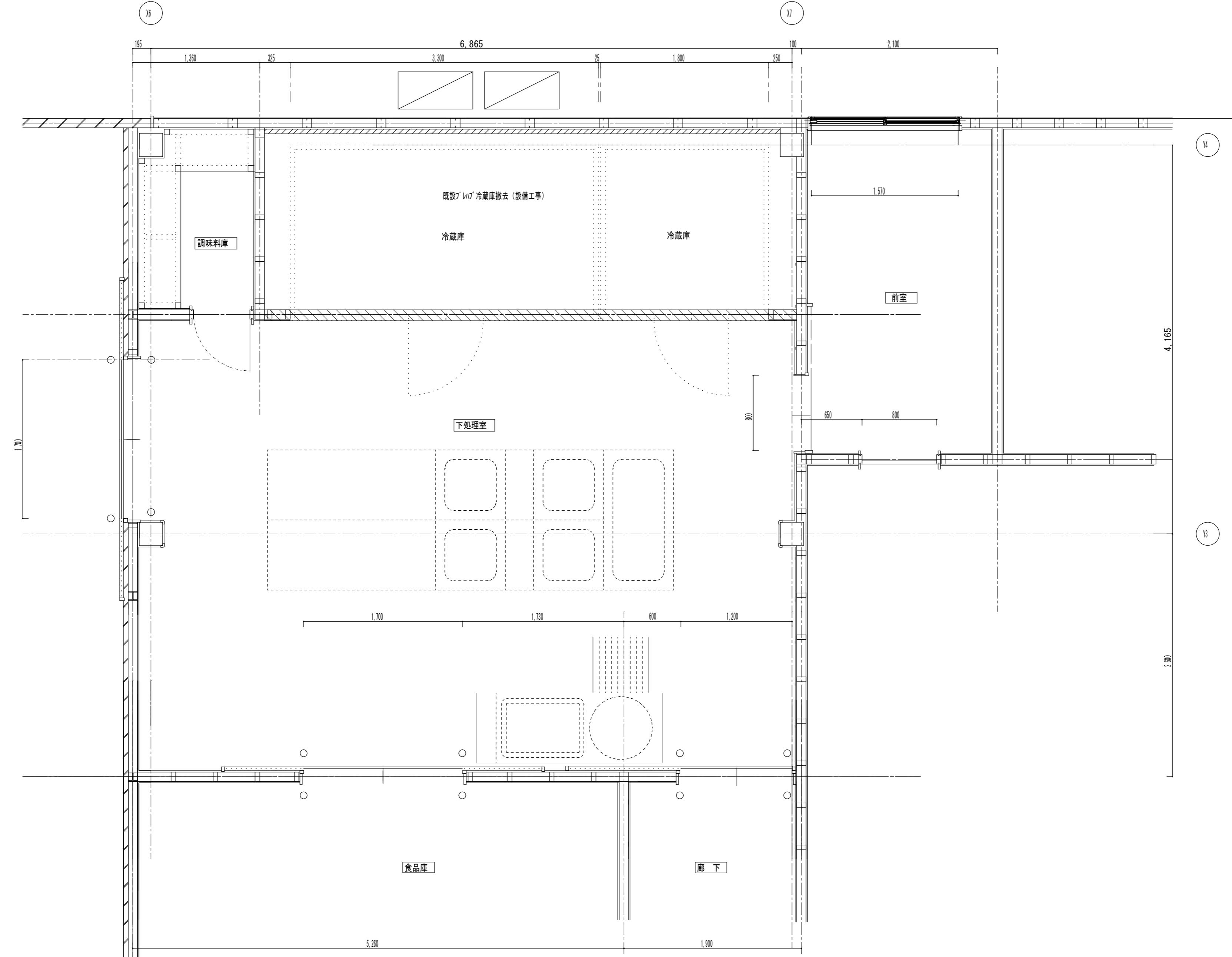


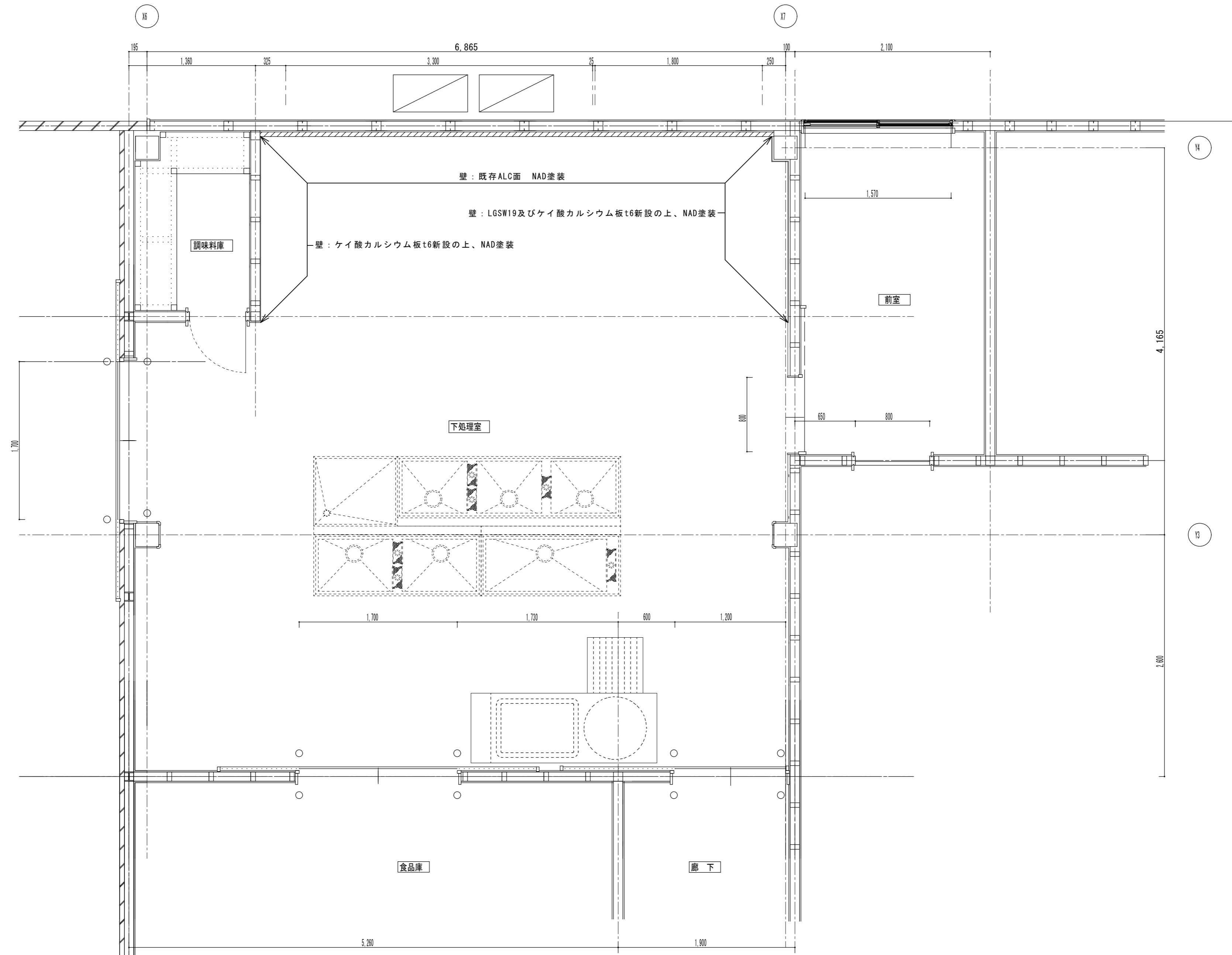


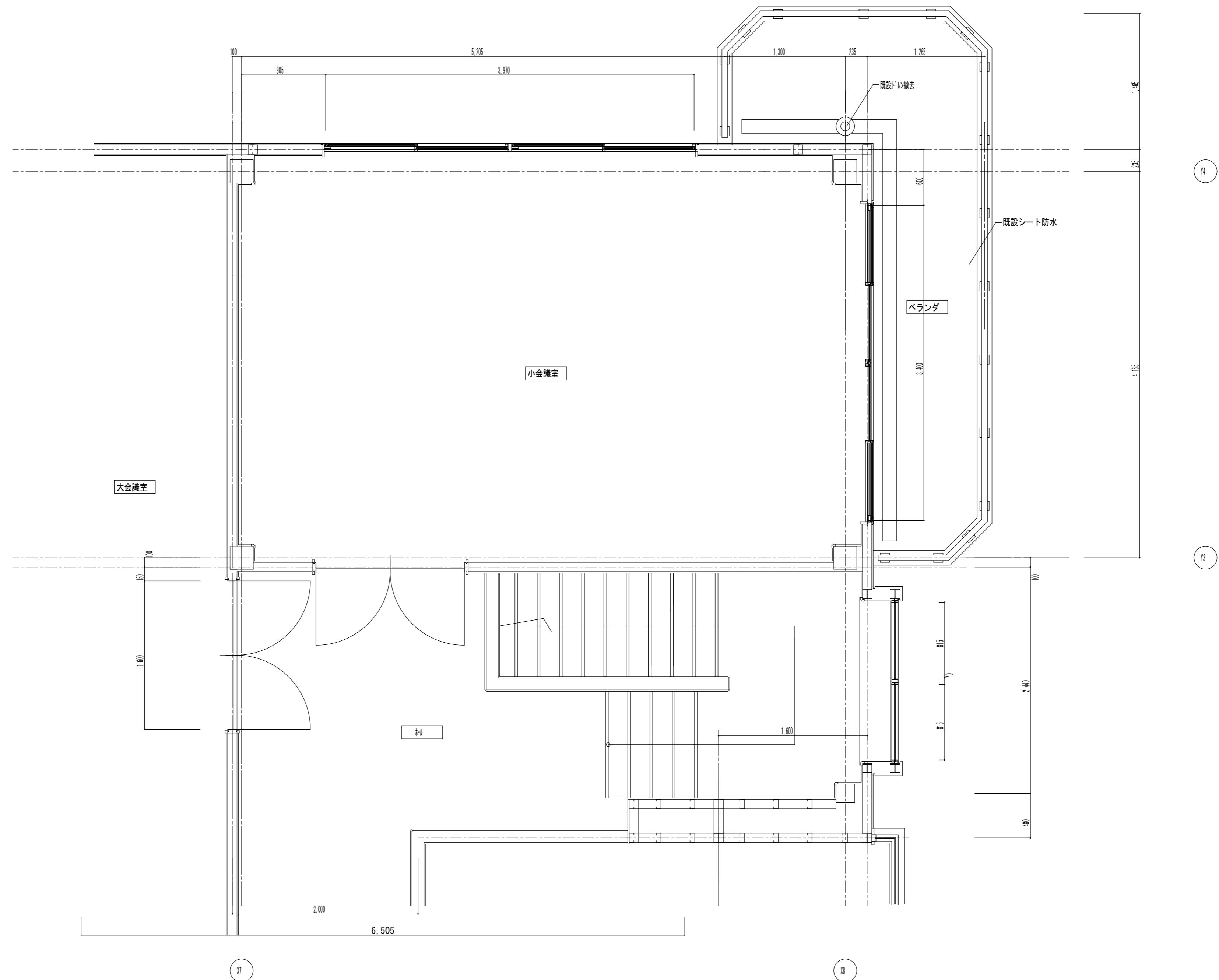
大会議室

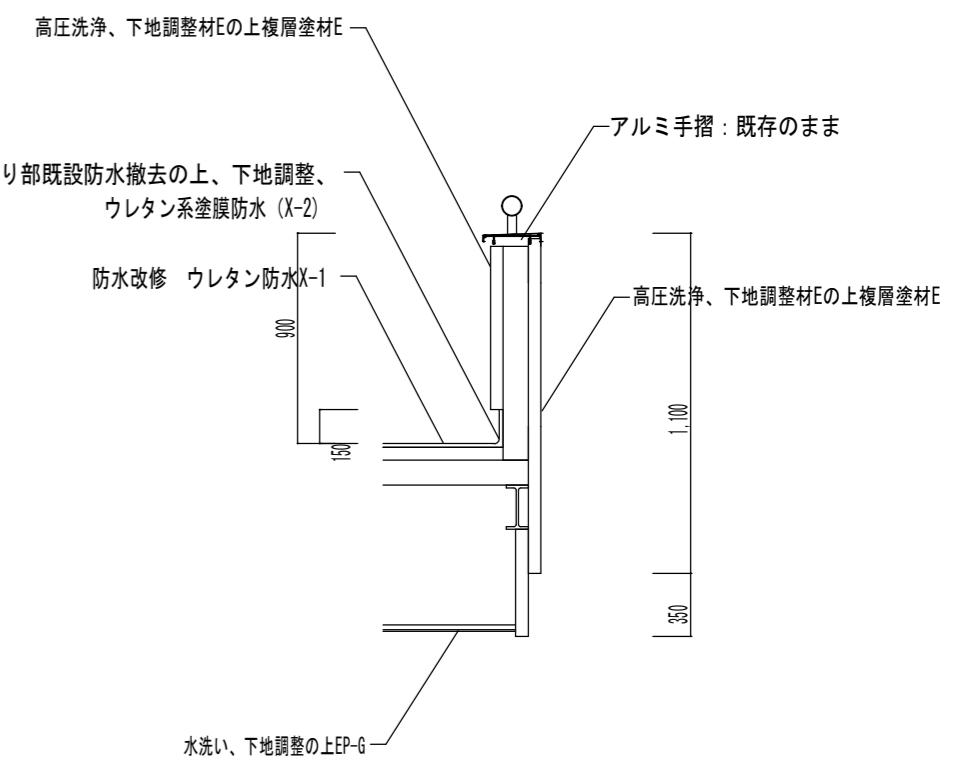
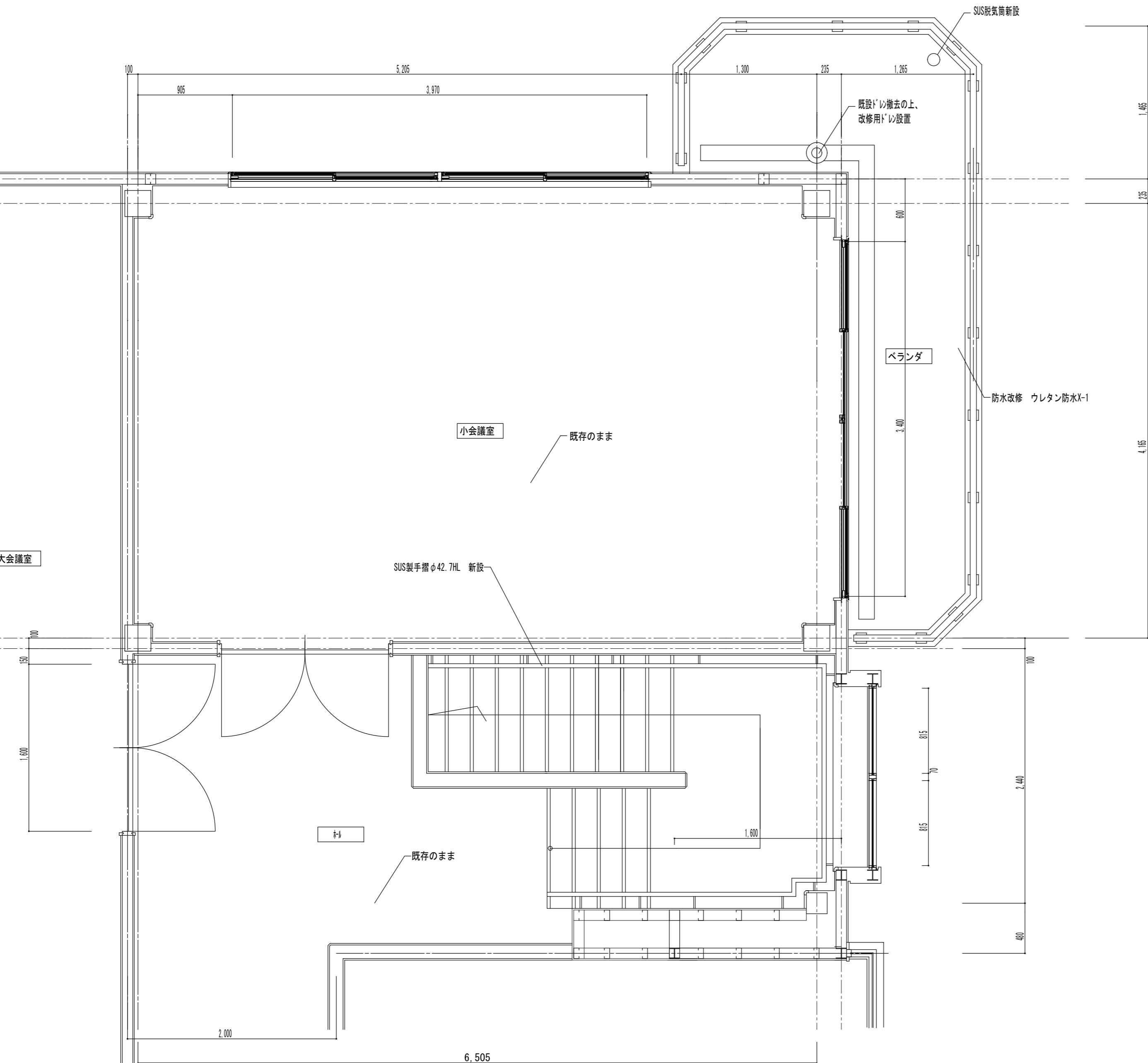




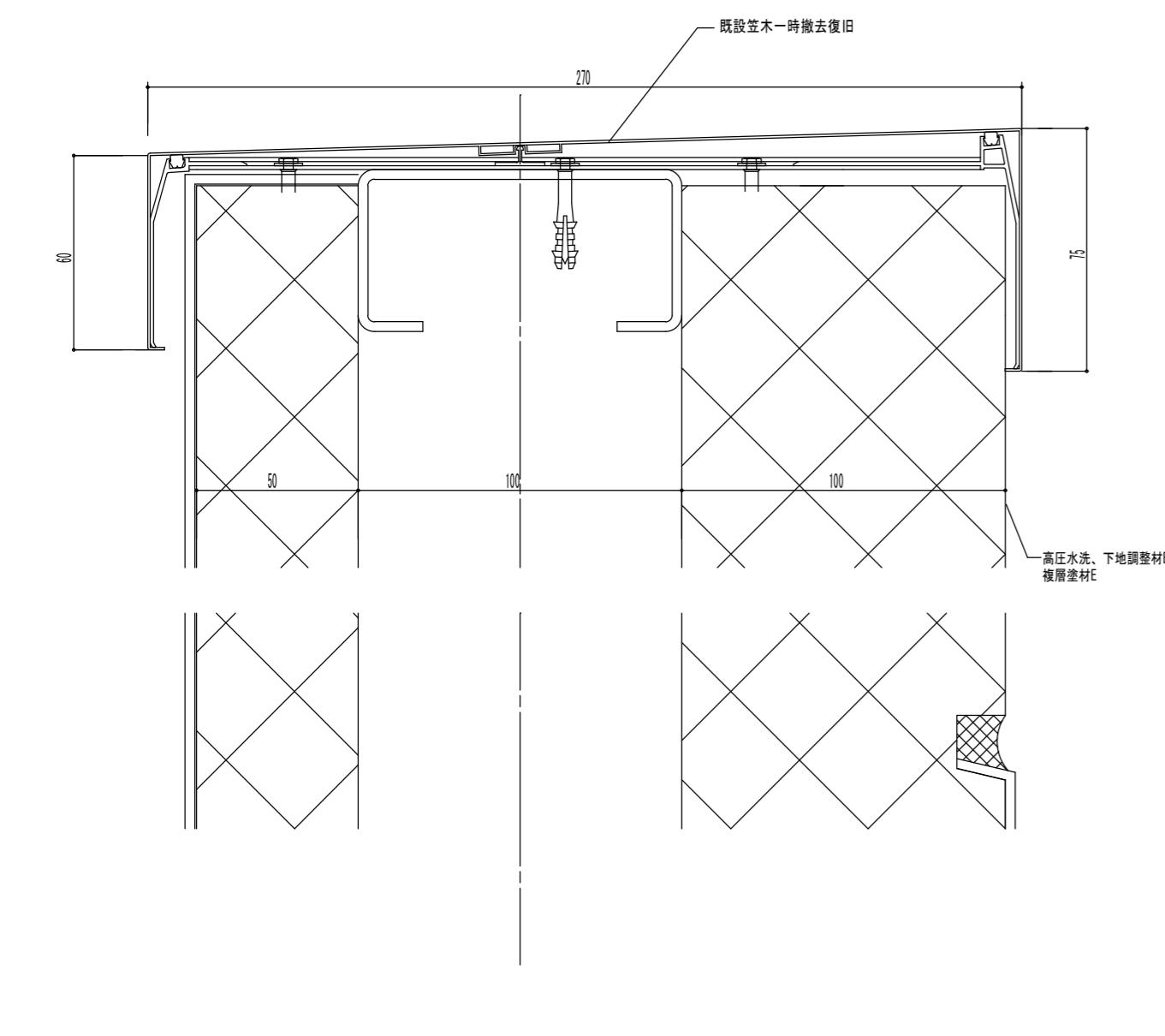




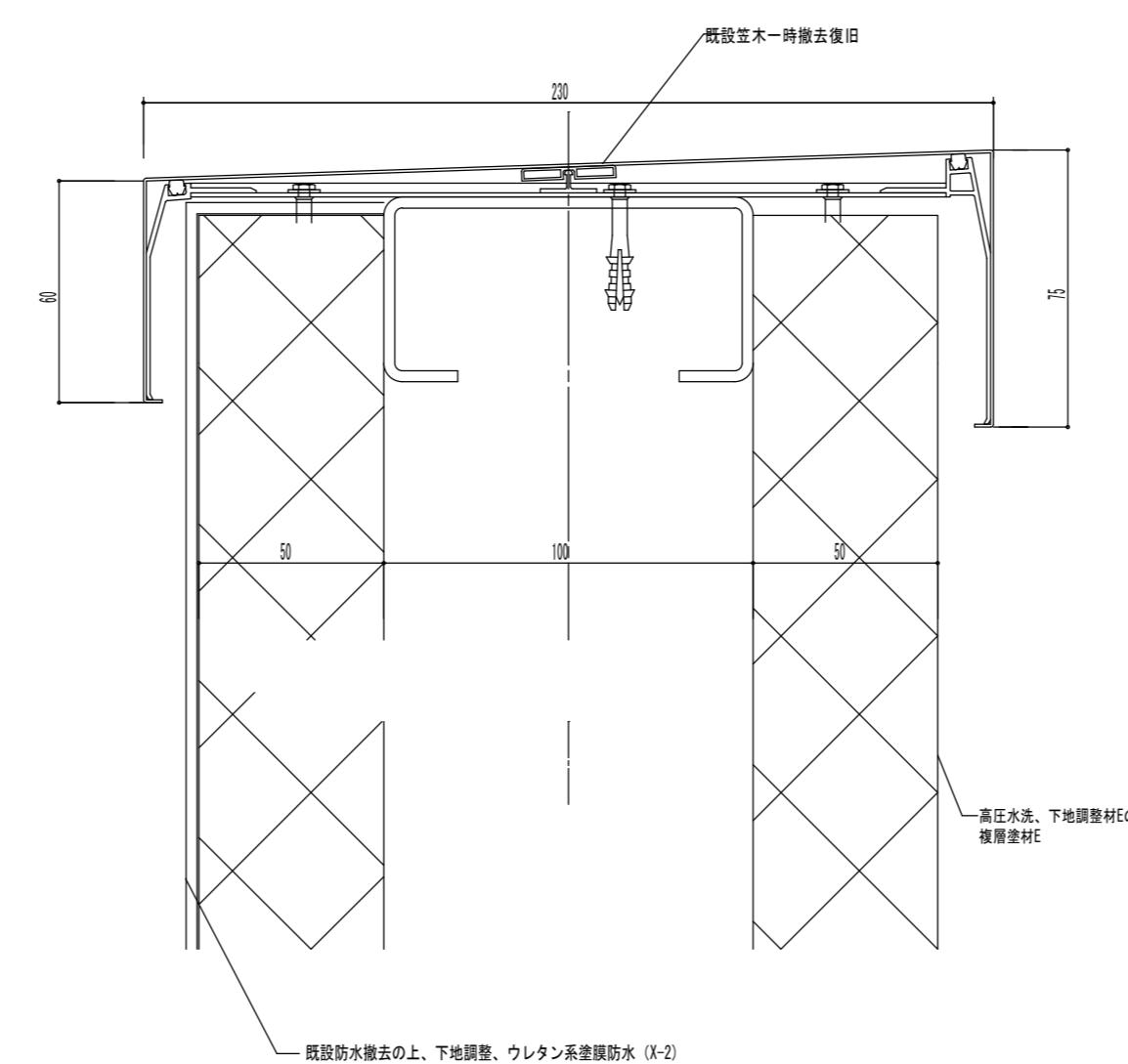




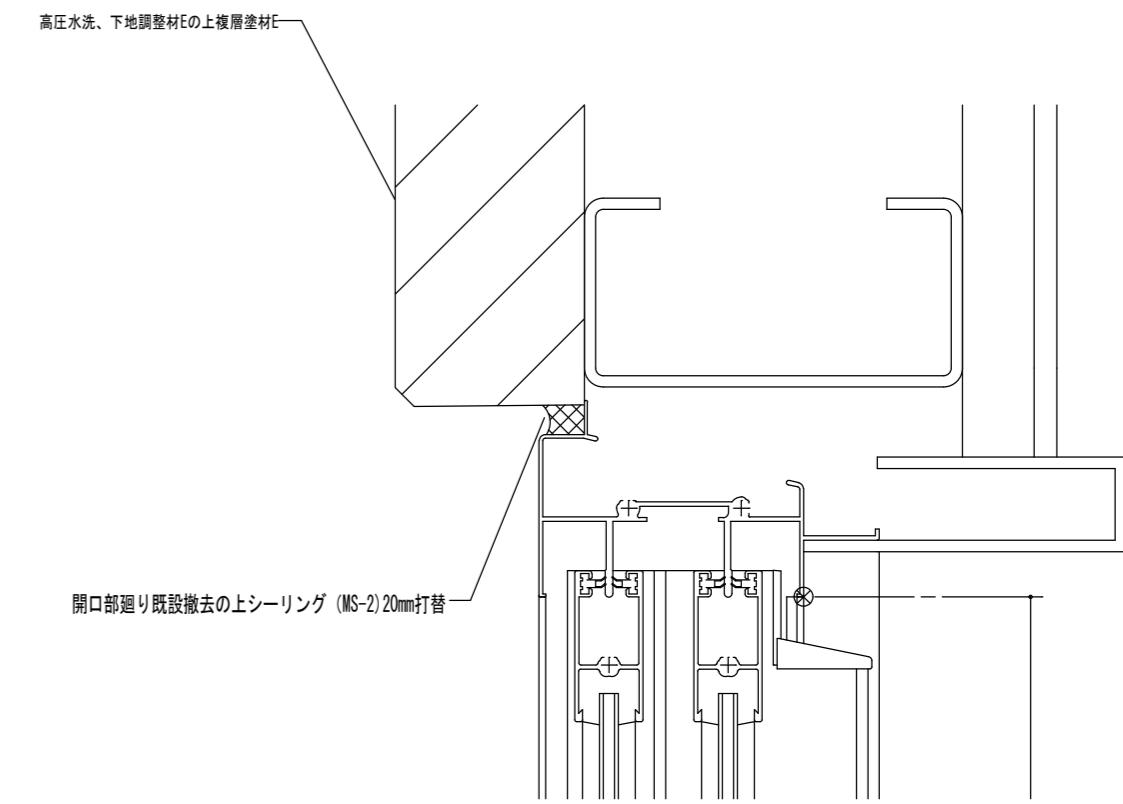
パラベットアルミ笠木（西面）詳細図



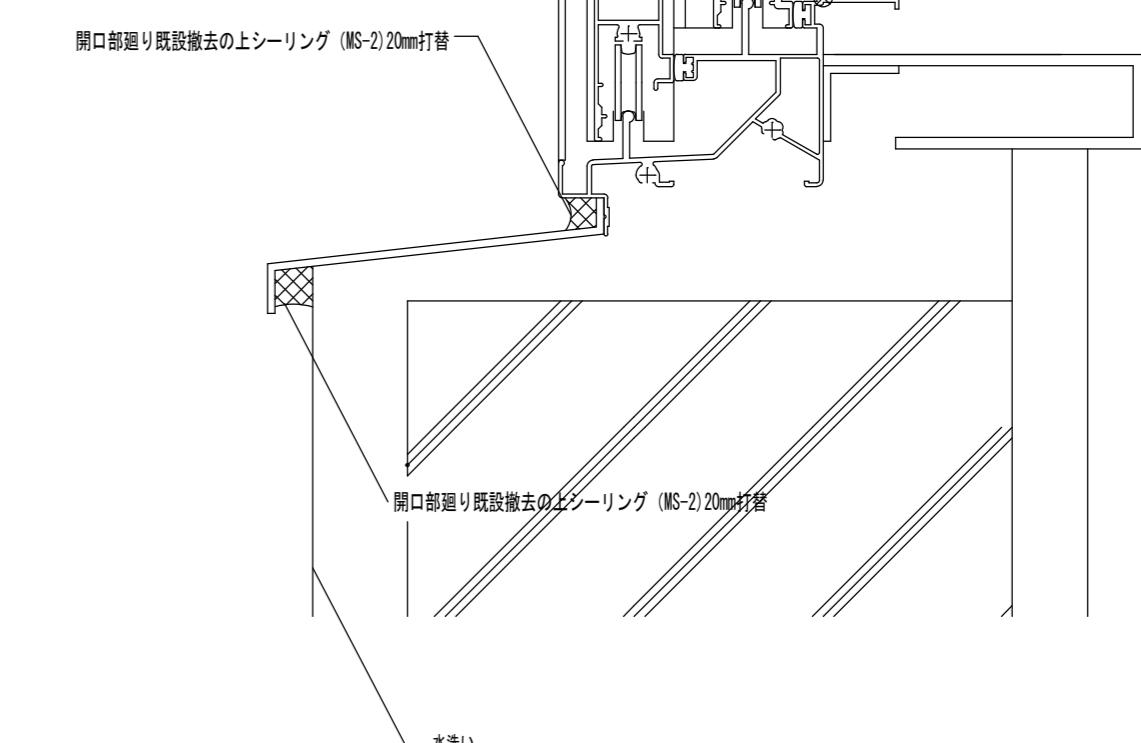
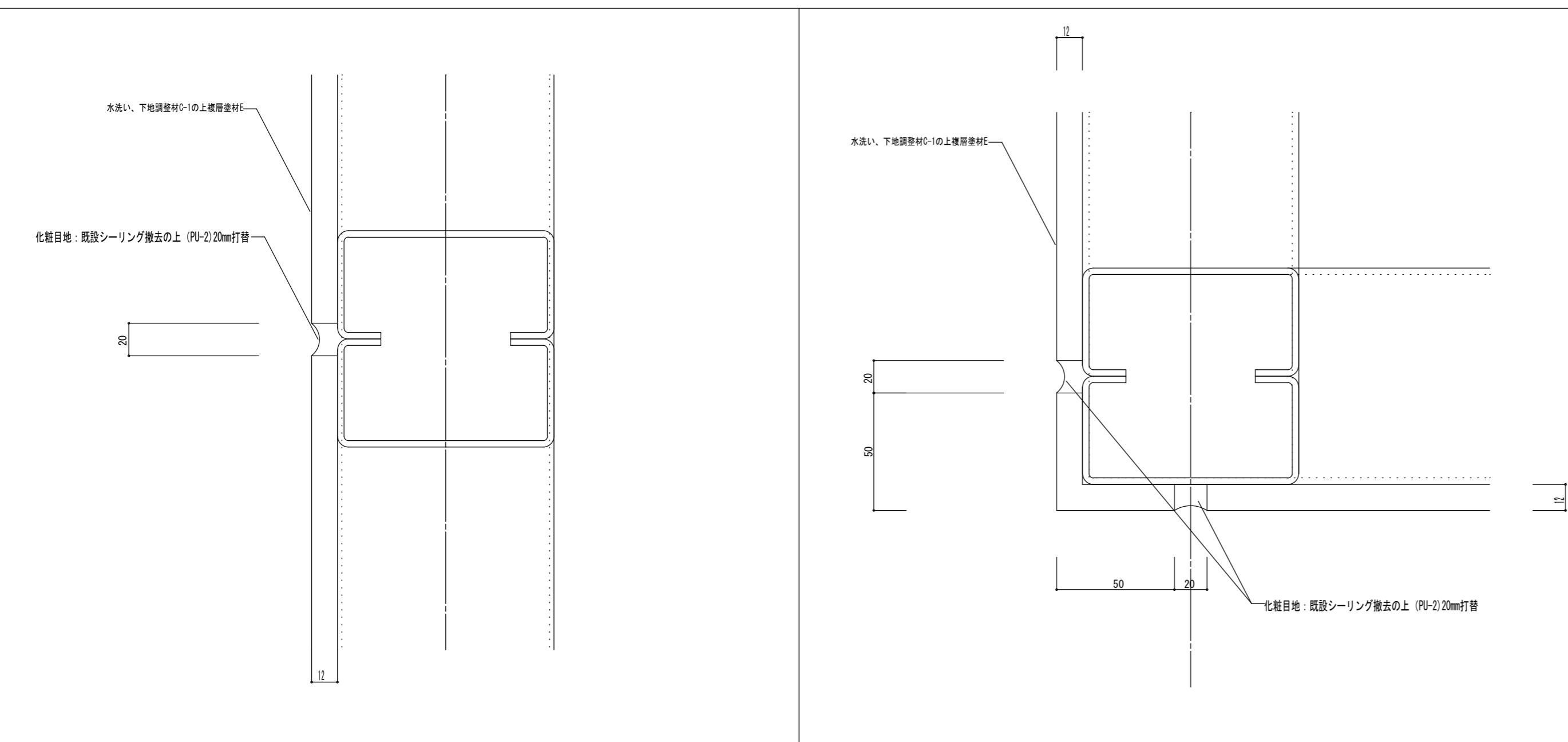
パラベットアルミ笠木（東、南、北面）詳細図

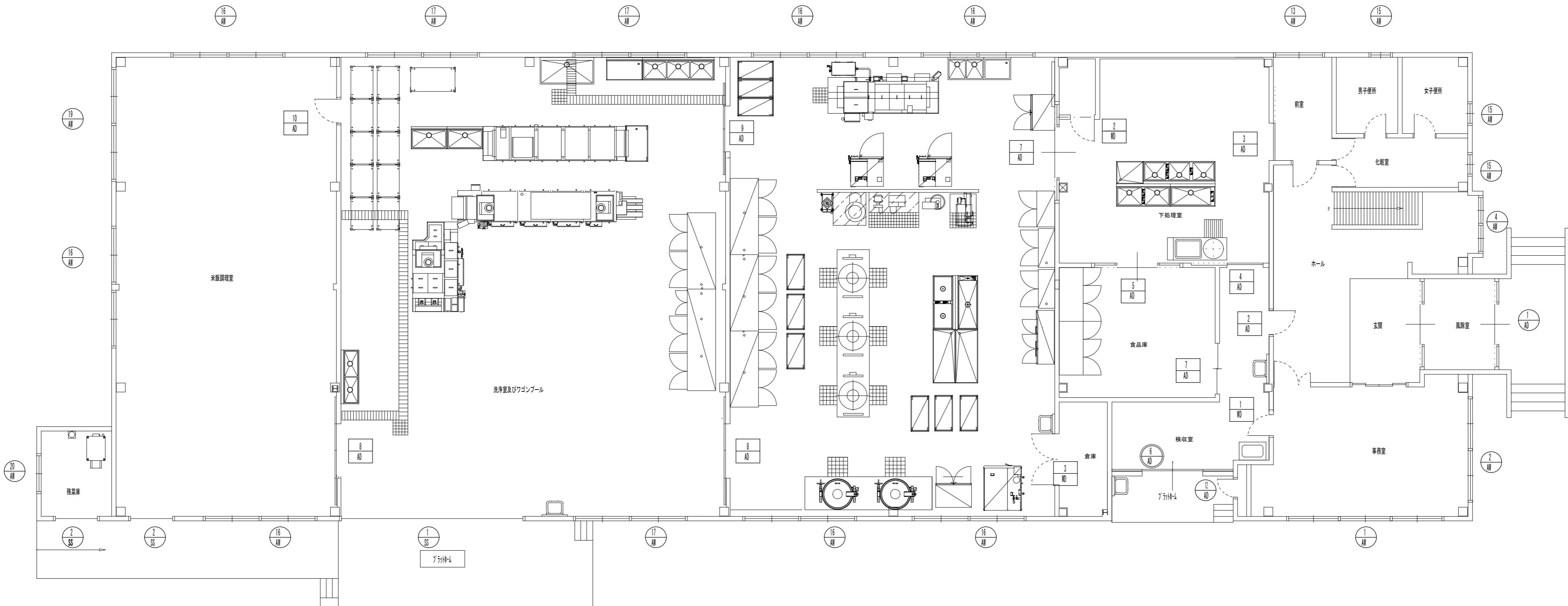
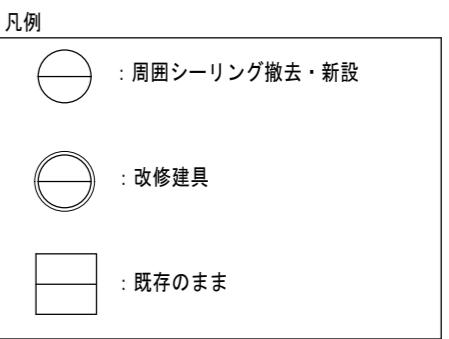


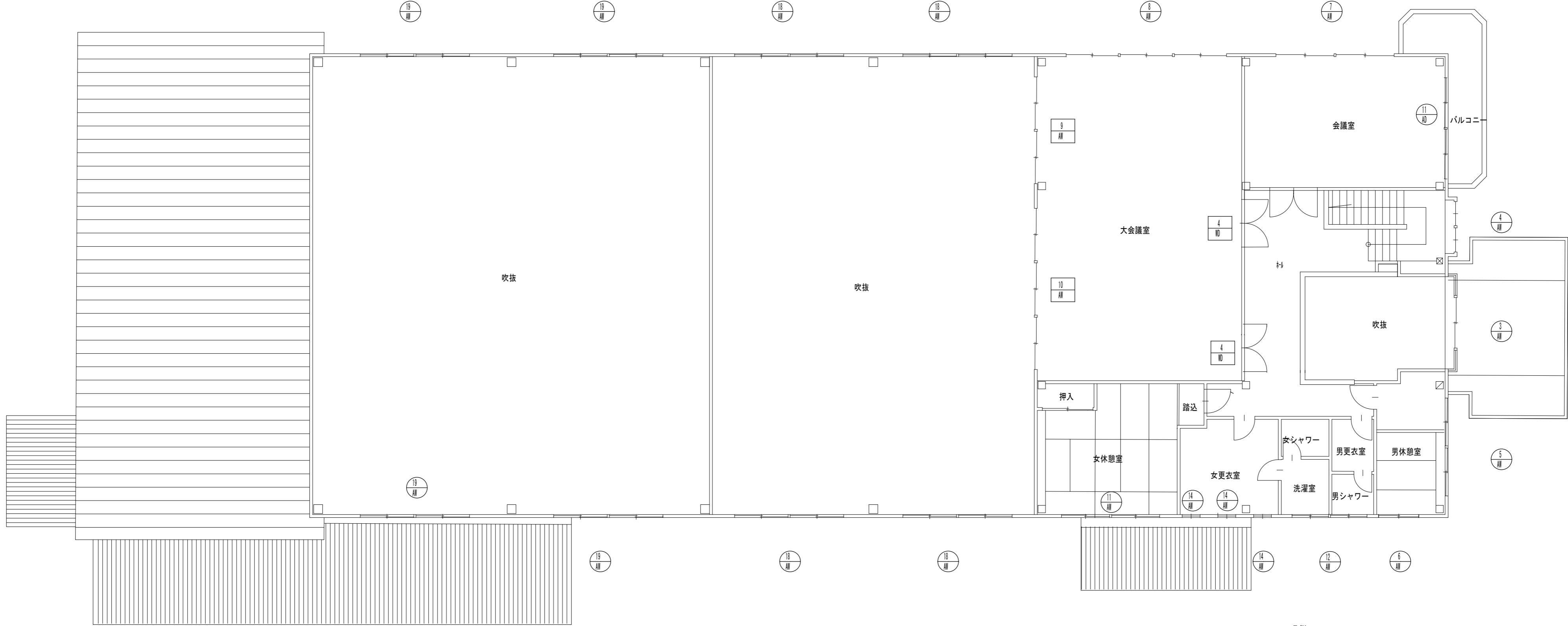
サッシ廻り詳細図



外壁仕上（ケイ酸カルシウム板 t=12）詳細図







建具表 S-1/100

室名・符号・箇所	1	2 AD	既存のまま	1	3 AD	既存のまま	1	4 AD	既存のまま	1	5 AD	既存のまま	1	6 AD	
姿図														<small>網入りガラス6.8撤去の上、アルミ枠3.0新設</small>	
形式	袖付両開きドア	格子ドア	片引きハンガーフラッシュドア	片引きハンガーフラッシュドア	両引分けハンガーフラッシュドア									引分けドア(袖欄間付)	100
仕上															
シーリング	枠縁りシーリング(3周) 20mm													枠縁りシーリング(3周) 20mm	
備考															
室名・符号・箇所	7 AD	既存のまま	1	8 AD	既存のまま	2	9 AD	既存のまま	1	10 AD	既存のまま	1	11 AD		12 AD
姿図															
形式	引き違いガラスドア	両引分けガラスドア	両引分けガラスドア	片開きガラスドア	片開きガラスドア	2連引き違いガラス戸(横欄間付)								片開きフラッシュ戸	
仕上	カラーアルミ														
シーリング														シーリング打替(4周) 20mm	
備考															
室名・符号・箇所	1 戸	1	2 戸	1	3 戸	1	4 戸	1	5 戸	1	6 戸	1	7 戸	1	8 戸
姿図															
形式	3連引き違いガラス窓	2連引き違いガラス窓	ハメ殺し袖付引き違いガラス窓	内倒し及びFIXガラス窓	2連引き違いガラス窓									引き違いガラス窓	
仕上															
シーリング	シーリング打替(4周) 20mm	シーリング打替(4周) 20mm	シーリング打替(4周) 20mm	シーリング打替(4周) 20mm	シーリング打替(4周) 20mm	シーリング打替(4周) 20mm	シーリング打替(4周) 20mm	シーリング打替(4周) 20mm	シーリング打替(4周) 20mm	シーリング打替(4周) 20mm	シーリング打替(4周) 20mm	シーリング打替(4周) 20mm			
備考															

*) 枠縁りシーリングは特記なき限り20mmとする

建具表 S-1/100

室名・符号・箇所	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
姿図									既存のまま	既存のまま	既存のまま									
形式	2連引き違いガラス窓	3連引き違いガラス窓	2連引き違いガラス窓	3連引き違いガラス窓	3連引き違いガラス窓	2連引き違いガラス窓	2連引き違いガラス窓													
仕上																				
シーリング	シーリング打替(4周)20mm	シーリング打替(4周)20mm									シーリング打替(4周)20mm							シーリング打替(4周)20mm		
備考																				
室名・符号・箇所	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
姿図																				
形式	引き違いガラス窓	堅軸回転ガラス窓	堅軸回転ガラス窓	2連引き違いガラス窓(棊ガラリ付)	2連引き違いガラス窓(棊ガラリ付)	2連引き違いガラス窓														
仕上																				
シーリング	シーリング打替(4周)20mm	シーリング打替(4周)20mm	シーリング打替(4周)20mm	シーリング打替(4周)20mm	シーリング打替(4周)20mm	シーリング打替(4周)20mm												シーリング打替(4周)20mm		
備考																				
室名・符号・箇所	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20			
姿図																				
形式	2連引き違いガラス窓	引き違いガラス窓																		
仕上																				
シーリング	シーリング打替(4周)20mm	シーリング打替(4周)20mm																		
備考																				

*) 枠廻りシーリングは特記なき限り20mmとする

建具表 S-1/100

室名・符号・箇所	1 SS	1 SS	2 ID	既存のまま 1	2 ID	既存のまま 1	3 ID	既存のまま 1	4 ID	既存のまま 1
姿図										
形式	軽量シャッター	軽量シャッター	片開きフラッシュドア	片開きフラッシュドア	両開きフラッシュドア	両開きフラッシュドア				
仕上										
シーリング	枠縁リレーリング(3周) 20mm	枠縁リレーリング(3周) 20mm								
備考										
室名・符号・箇所										
姿図										
形式										
仕上										
シーリング										
備考										
室名・符号・箇所										
姿図										
形式										
仕上										
シーリング										
備考										
室名・符号・箇所										

*) 枠縁リレーリングは特記なき限り20mmとする